

地球電磁気・地球惑星圏学会

Society of Geomagnetism and Earth, Planetary and Space Sciences (SGEPSS)

2025年秋季年会プログラム

開催期間 2025年11月23日(日・祝)～11月27日(木)

開催場所 神戸大学 六甲台第2キャンパス(〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1)

第158回総会・特別講演・田中館賞受賞講演

日時 (総会) 2025年11月25日(火) 16:05～18:35
(田中館賞受賞講演) 2025年11月26日(水) 11:05～12:40
(特別講演) 2025年11月26日(水) 13:45～14:30

場所 百年記念館六甲ホール(A会場)

第158回講演会

日時 2025年11月24日(月)～11月27日(木)

場所 百年記念館六甲ホール (A会場)

瀧川記念学術交流会館2F大会議室 (B会場)

理学研究科Z棟201号室 (C会場)

理学研究科Z棟202号室 (D会場)

百年記念館ホワイエ (ポスター会場)

共催 神戸大学 理学研究科、システム情報学研究科、海洋底探査センター

後援 神戸コンベンションビューロー

一般公開イベント

日時 2025年11月23日(日・祝) 13:00～17:00

場所 神戸大学百年記念館(〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1)

共催 神戸大学 理学研究科、システム情報学研究科、海洋底探査センター

後援 兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会

		9:15 - 10:45			11:05 - 12:35			13:45 - 15:45			16:05 - 18:05				
(標準的な時間割当)		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18				
23日(日・祝)	*						一般公開イベント (13:00-17:00)								
	A						R009：惑星圏・小天体			R009：惑星圏・小天体					
	B											R010：宇宙天気・宇宙気候～観測、シミュレーション、その融合～			
24日(月)	C						R011：データシステム科学			R011：データシステム科学					
	A	R009：惑星圏・小天体		R009：惑星圏・小天体		R009：惑星圏・小天体			総会 (16:05-18:35)						
	B	R010：宇宙天気・宇宙気候～観測、シミュレーション、その融合～		R010：宇宙天気・宇宙気候～観測、シミュレーション、その融合～		R010：宇宙天気・宇宙気候～観測、シミュレーション、その融合～									
25日(火)	C	R011：データシステム科学		R011：データシステム科学		R007：太陽圏									
	D	R003：地球・惑星内部電磁気学 (電気伝導度、地殻活動電磁気学)		R003：地球・惑星内部電磁気学 (電気伝導度、地殻活動電磁気学)		R004：地磁気・古地磁気・岩石磁気									
	P	ポスター1 [R004, R006]					ポスター2 [R005, R008]								
	A				田中館賞講演 (11:05-12:40)		特別講演会 (13:45-14:30)		R005：大気圏・電離圏		R005：大気圏・電離圏				
	B								R006：磁気圏		R006：磁気圏				
26日(水)	C	R008：宇宙プラズマ科学									R008：宇宙プラズマ科学				
	D	R004：地磁気・古地磁気・岩石磁気								R004：地磁気・古地磁気・岩石磁気					
	P								ポスター3 [R003, R007, R009, R010, R011]						
	A	R005：大気圏・電離圏		R005：大気圏・電離圏		R005：大気圏・電離圏									
27日(木)	B	R006：磁気圏		R006：磁気圏		R006：磁気圏									
	C	R008：宇宙プラズマ科学		R008：宇宙プラズマ科学											

講演会場・ポスター会場：神戸大学 六甲台第2キャンパス

口頭発表 — A会場：百年記念館六甲ホール, B会場：瀧川記念学術交流会館2F大会議室, C会場：理学研究科Z棟201号室,

D会場：理学研究科Z棟202号室

特別講演会・総会 — A会場：百年記念館六甲ホール

ポスター発表 — P会場：百年記念館ホワイエ

一般公開イベント会場：神戸大学百年記念館

		9:15 – 10:45			11:05 – 12:35			13:45 – 15:45			16:05 – 18:05					
(Standard timing)		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18					
23 (Sun)	*						Public Outreach Event (13:00-17:00)									
24 (Mon)	A						R009 : Planets and Small Bodies				R009 : Planets and Small Bodies					
	B											R010 : Space Weather/ Space Climate				
	C						R011 : Data System Science				R011 : Data System Science					
25 (Tue)	A		R009 : Planets and Small Bodies			R009 : Planets and Small Bodies			R009 : Planets and Small Bodies			Plenary meeting (16:05-18:35)				
	B		R010 : Space Weather/ Space Climate			R010 : Space Weather/ Space Climate			R010 : Space Weather/ Space Climate							
	C		R011 : Data System Science			R011 : Data System Science			R007 : Heliosphere							
	D		R003 : Solid Earth Electromagnetism			R003 : Solid Earth Electromagnetism			R004 : Geomagnetism/ Paleomagnetism/ Rock Magnetism							
	P		Poster 1 [R004, R006]					Poster 2 [R005, R008]								
26 (Wed)	A				Tanakadate Prize Lectures (11:05-12:40)			Special lecture (13:45-14:30)		R005 : Atmosphere/ Ionosphere			R005 : Atmosphere/ Ionosphere			
	B										R006 : Magnetosphere			R006 : Magnetosphere		
	C		R008 : Space Plasma Science							R008 : Space Plasma Science						
	D		R004 : Geomagnetism/ Paleomagnetism/ Rock Magnetism							R004 : Geomagnetism/ Paleomagnetism/ Rock Magnetism						
	P								Poster 3 [R003, R007, R009, R010, R011]							
27 (Thu)	A		R005 : Atmosphere/ Ionosphere			R005 : Atmosphere/ Ionosphere					R005 : Atmosphere/ Ionosphere					
	B		R006 : Magnetosphere			R006 : Magnetosphere					R006 : Magnetosphere					
	C		R008 : Space Plasma Science			R008 : Space Plasma Science										

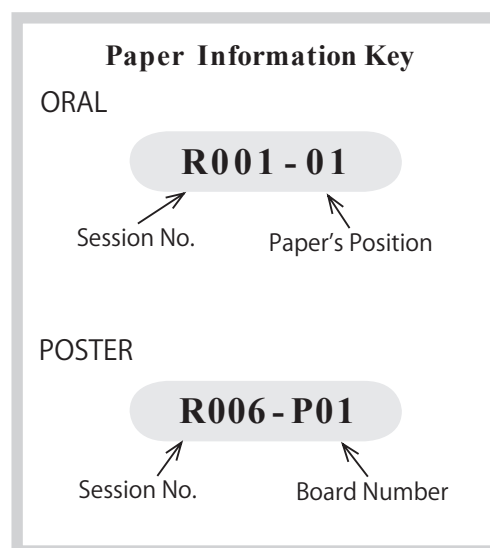
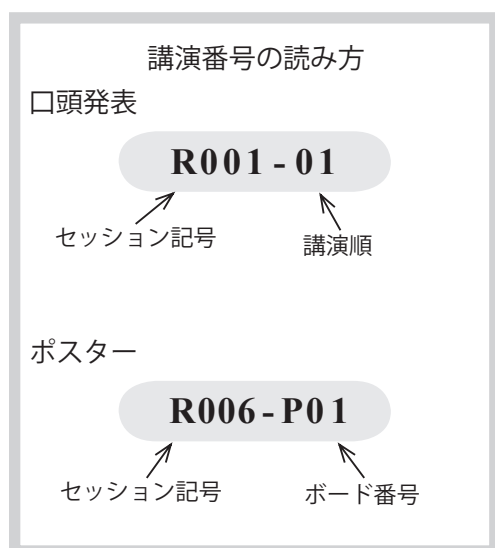
Venue : Rokkodai 2nd Campus, Kobe University

Oral presentations — A : Kobe University Centennial Hall (Rokko Hall),
B : Takigawa Memorial Hall (2F Large Conference Room),
C : Faculty & Graduate School of Science - Z (201),
D : Faculty & Graduate School of Science - Z (202)

Special lectures, Plenary meeting — A : Kobe University Centennial Hall (Rokko Hall)

Poster presentations — P : Kobe University Centennial Hall (Foyer)

Public outreach event : Kobe University Centennial Hall



学会長挨拶

中村 卓司(第33期会長)

地球電磁気・地球惑星圏学会2025年秋季年会(第158回総会・講演会・一般公開イベント)を開催するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。今回、2011年以来14年ぶりに神戸市において秋学会を開催することになり、神戸出身の私は大変嬉しく思っております。神戸大学の会員の皆様にはLOCとして開催のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。前回2011年の秋学会では、1995年の阪神淡路大震災で傷ついた神戸市において秋学会の開催が叶い、多くの会員にご参加いただけたことを思い出します。また同時にこの年は東日本大震災の年であったことも忘れてはならない記憶です。さて、昨年から今年にかけての学協会周辺の大きな話題は、長期化が続くウクライナ・ロシアの戦争、エスカレートするガザ地区での戦争、それに米国の政権交代による科学技術政策の大転換などでしょう。同時に急激な国内の物価上昇も研究環境に大きな影響を与えているかと思えます。このような新しい状況のもとで、どのように地球電磁気・地球惑星圏の科学を推進していくか、多くの会員の皆様が一同に会する機会ですので、各セッションでの活発な議論とともに、参集された皆様で大いに意見交換をしていただければと思います。戦後の混乱の時期に設立された日本地球電気磁気学会の頃から多くの困難を乗り越けて学術を発展させてきたSGEPSSの歴史を振り返れば、きっと良い方策が浮かぶものと期待しております。今回も、現地でそしてオンラインで参加される皆様にとって実りの多い学会となりますよう祈念しております。

大会委員長挨拶

島 伸和(第158回総会・講演会 大会委員長)

神戸大学でのSGEPSS 2025年秋季年会に、多数のご来場をお待ちしております。神戸大学で前回、秋季年会が開催されたのは2011年であり、それからすでに14年が経過しました。この間、変わらないこともあれば、さまざまな変化もありました。変わらないのは、大学までの山登りと、そのおかげで見ることができる美しい景色や夜景です。今回使用する会場の建物も、前回とほぼ同じものを使います。一方で、変化としては、まず学内のスタッフの約半数が入れ替わり、世代交代が進んでいます。また、海洋底探査センターが学内センターとして新たに設立され、今年度からはシステム情報学部の新設もありました。さらに、セブンイレブンやスターバックスが学内に開業し、キャンパスにも少し町の雰囲気が感じられるようになりました。会場のひとつである百年記念館の入口付近では、観光客と思われる方々が増え、景色を楽しむ姿も見られるようになっています。ちなみに、前回の神戸大学でのプログラムを見たところ、「大会委員長挨拶」の記載はありませんでした。この挨拶文を掲示するのも、ひとつの変化と言えるかもしれません。そして、今年の懇親会は、これまで特別講演、田中館賞受賞記念講演、総会に引き続いて行っていましたが、この慣例を変更し、一般講演の後に実施することにしました。より多くの学生に懇親会に参加していただき、次を担う若手との新たな交流につながることを期待しています。これはこの年会の大きな変化のひとつですが、さて、結果としてどのような変化が現れるのでしょうか。奮ってご参加ください。このような状況で開催する秋季年会ですが、多くの方々が新しい研究成果を持ち寄って発表していただき、活発な議論ができる場になるように、LOC一同、運営委員の担当者と共に努力してまいります。秋季年会のようなMeetingでは、多くの方と実際に会うことが重要な要素です。発表以外でも、会話や雑談を通じて新たな始まりにつながる可能性が生まれてきたと思っています。ぜひ多くの方に会場に足を運んでいただければ幸いです。

運営委員会よりお知らせ

○ 参加登録

- 現地およびオンライン参加にあたって、双方ともにオンラインでの参加登録が必要です。LOCサイトより、参加登録システムに会員番号または個人IDにてログインし、登録・決済を行って頂くようお願いします。
- 参加登録は、現地・オンライン共通です。
- 決済はクレジットカードのみです。また、クレジットカード本人認証サービスの有効化が必要です。
- 現地参加の場合は、参加区分に関わらず、受付にて参加登録を確認後に名札をお渡しします。領収書の提示は不要です。

- 総会は11月25日(火)16:05～18:35に、A会場(百年記念館六甲ホール)及びZoom meetingで開催されますのでご出席願います。やむを得ず欠席される方は委任状をご提出下さい。委任状の提出は電子的にお願いいたします。提出の方法は、学会メーリングリストにてご案内します。

- 特別講演・田中館賞受賞講演は総会翌日の11月26日(水)11:05よりA会場(百年記念館六甲ホール)及びZoom meetingで開催されますので、ご参加ください。

- 予稿集は学会HP(<https://www.sgepss.org/meeting/fallmeeting.html>)よりオンラインでご利用いただけるほか、ダウンロードしてお手元に保存することが可能です。

○ 口頭発表

- 現地会場、Zoom meetingどちらからでも参加可能なハイブリッド形式で開催します。詳細については、別途連絡している参加マニュアルを確認してください。
- 口頭発表は録画されます。この内容は、秋季年会HPにて期間限定でSGEPSS会員及び秋学会の参加登録者が視聴可能となります。

○ ポスター発表

- ポスターセッションは百年記念館ホワイエにて開催されます。現地開催のみです。3回に分けて実施され、各回の発表セッション名は下表のとおりです。

ポスターセッションP1	ポスターセッションP2	ポスターセッションP3
11月25日(火)午前 コアタイム：9:15-12:35	11月25日(火)午後 コアタイム：13:15-15:45	11月26日(水)午後 コアタイム：14:50-18:25
R004：地磁気・古地磁気・岩石磁気 R006：磁気圏	R005：大気圏・電離圏 R008：宇宙プラズマ科学	R003：地球・惑星内部電磁気学 R007：太陽圏 R009：惑星圏・小天体 R010：宇宙天気・宇宙気候 R011：データシステム科学

- ポスターは11月24～25日のP1, P2と26～27日のP3の間で入れ替えを行います。初日(11/24)は13:00から、2日目以降は9:00から掲示可能です。ポスターの撤収は、P1, P2については2日目(11/25)の18:30までに、P3については4日目(11/27)の12:00までをお願いします。
- ポスターは、一人あたり、高さ1.8m×幅0.9m(A0縦型)の領域内に収まるよう、ご準備ください。
- 緊急のポスター発表を希望される場合は、プログラム担当(fm@sgepss.org)までご相談ください。
- 学生会員が第一著者かつ発表者で、エントリーを希望された全発表(口頭及びポスター発表)の中で、将来性、独創性のある研究に対して学生発表賞が授与されます。ポスター発表中には、審査員が時間割(別途、配布)に従って見て回り、審査します。ポスター発表者は、審査の時間中は審査員を優先して説明してください。
- 委員会等他の会合については、秋季年会HP並びに会場内にてご案内いたします。
- 会場総合受付付近に会費支払い窓口を設けますので、未納分あります方はご利用ください。

開設日時：11月25日(火) 9:00～17:45 (総会開始前まで)

11月26日(水) 13:00～16:30

大会案内

- 秋季年会 URL <https://www.sgepss.org/meeting/fallmeeting.html>

第158回総会・講演会

- 講演会・ポスター会場 神戸大学 六甲台第2キャンパス
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

受付	百年記念館入口	
A会場	百年記念館六甲ホール	
B会場	瀧川記念学術交流会館	2F 大会議室
C会場	理学研究科Z棟	201号室
D会場	理学研究科Z棟	202号室
ポスター会場	百年記念館ホワイエ	

LOC控室	百年記念館	2F 講師控室
小会合会場1	百年記念館	3F 会議室1
小会合会場2	百年記念館	3F 会議室2
小会合会場3	理学研究科Y棟	201号室
小会合会場4	理学研究科Y棟	202号室
小会合会場5	理学研究科Y棟	101号室
小会合会場6	理学研究科Y棟	103号室

- 特別講演・総会会場 11月25日(火) 16時05分～18時35分
11月26日(水) 11時05分～14時30分

A会場	百年記念館六甲ホール
-----	------------

- 懇親会会場 11月26日(水) 18時45分～

理学研究科Z棟	201/202号室
---------	-----------

参加費：一般5000円、学生2000円

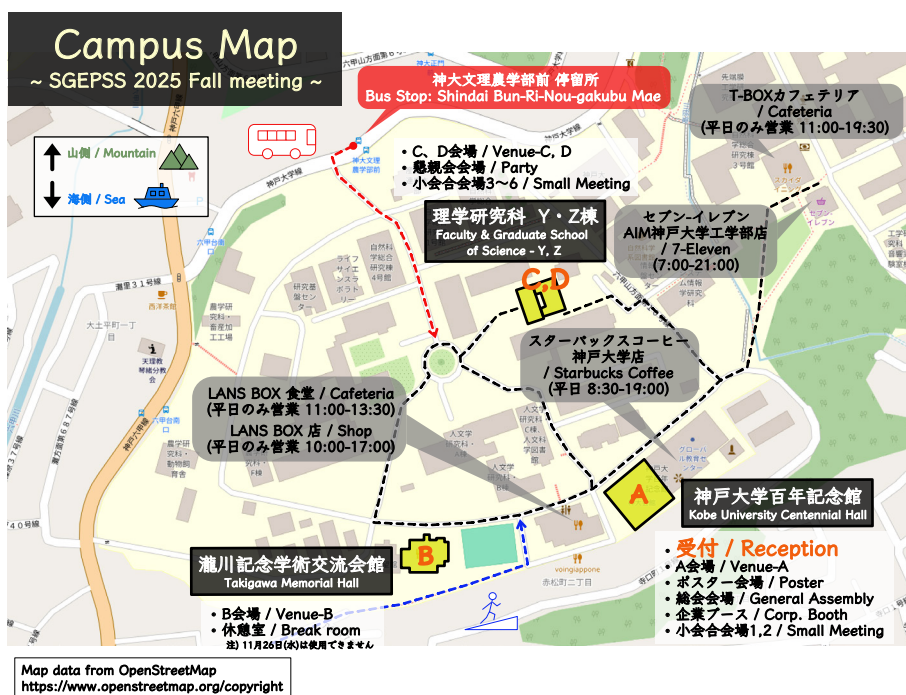
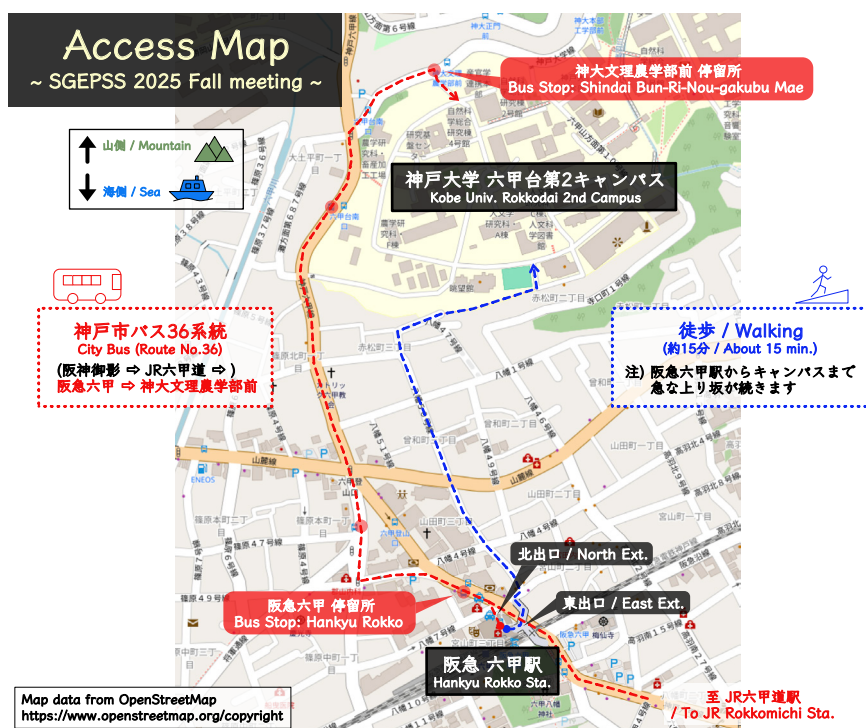
一般公開イベント

- 一般公開イベント会場 「みんなで行こう！ベールにおおわれた宇宙・地球の世界へ」
神戸大学百年記念館(〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1)
11月23日(日・祝) 13:00～17:00

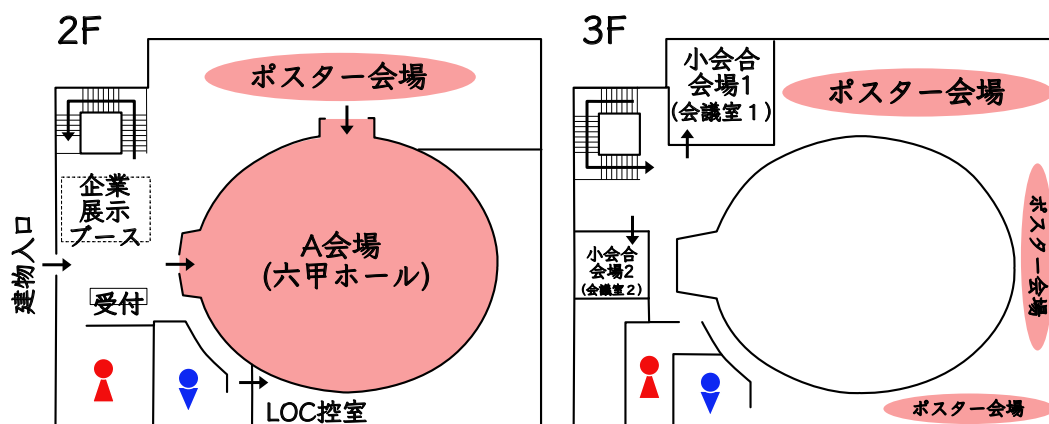
- 保育室 事前に申し込み頂いた利用者の方々のみへ、直接ご連絡致します。
申込み等につきましてはLOCのウェブページに情報を掲載しています。
<https://www.sgepss.org/meeting/fallmeeting.html>
ご不明な点は、ダイバーシティ担当の運営委員(大矢・岩井)にご連絡ください。

第158回総会・講演会 会場へのアクセス ～ 神戸大学 六甲台第2キャンパス ～

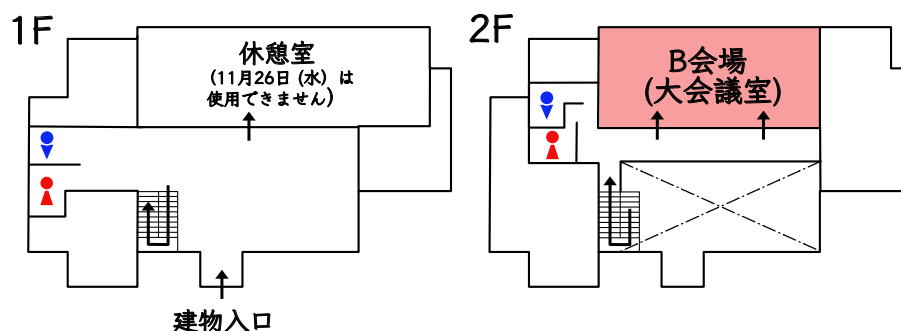
- 阪急六甲駅から：
 - 北出口から神戸市バス36系統に「阪急六甲」で乗車、「神大文理農学部前」で下車
 - 東出口から徒歩15分(※急な上り坂が続きます)
- JR六甲道駅から：
 - 北出口から神戸市バス36系統に「JR六甲道」で乗車、「神大文理農学部前」で下車
- 阪神御影駅から：
 - 北出口から神戸市バス36系統に「阪神御影」で乗車、「神大文理農学部前」で下車



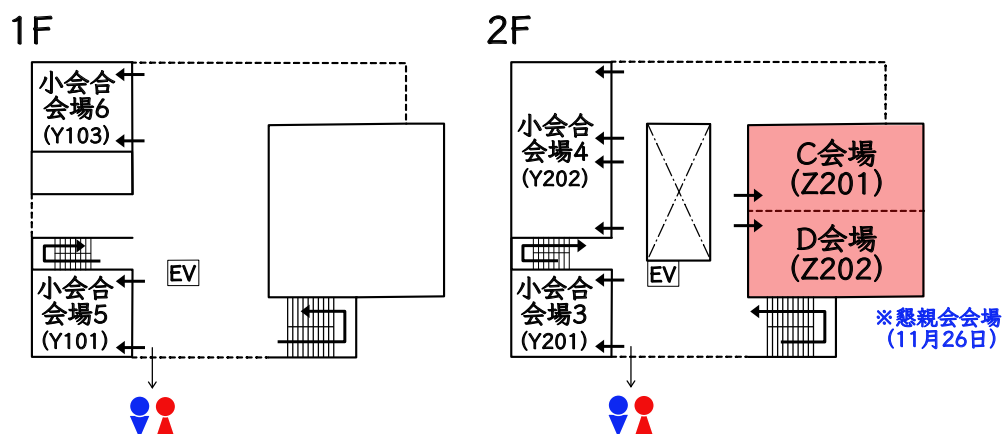
- (左図) 受付、A会場、ポスター会場、企業展示ブース、LOC控室 百年記念館 2F
- (右図) ポスター会場、小会合会場 百年記念館 3F



- (左図) 休憩室 瀧川記念学術交流会館 1F
- (右図) B会場 瀧川記念学術交流会館 2F



- (左図) 小会合会場 理学部Y・Z棟 1F
- (右図) C・D会場、懇親会会場、小会合会場 理学部Y・Z棟 2F



● 無線LAN

eduroam、または神戸大学のビジター用無線LANサービスをご利用いただけます。eduroamをご利用予定の場合は、所属大学・機関でeduroamのアカウントを事前に取得してください。ビジター用無線LANサービスの利用方法については、会場にてお知らせします。

● 企業展示ブース

百年記念館2階六甲ホール前に展示ブースを設けます

● 会期中の食事情報

- 神戸大学 六甲台第2キャンパス近辺には飲食店がほとんどありません。大学内の食堂を利用、またはホテル周辺等でお弁当を準備されることをお勧めします。参加者には、瀧川記念学術交流会館1階に飲食可能な休憩スペースを開放します(11/26を除く)。
- 特に休日(11/23-24)は、大学内の食堂は営業していませんのでご注意ください。セブンイレブンは休日もご利用いただけますが、商品は数に限りがございます。

● 会期中の宿泊情報

- 神戸市中央区三宮周辺のホテルが便利です。各自お調べいただき、ご予約ください。

● 組織委員会：神戸大学

大会委員長	島伸和	総会、渉外、全体支援
実行委員長	南拓人	運営委連絡、総務、全体支援
会計	臼井英之	助成、懇親会会計
会場	三宅洋平・檜村博基・岩本昌倫	会場の予約・運用、ブース、ポスター
IT	陰山聡・中島涼輔	ネットワーク・ハイブリッド対応
受付	松野哲男・林祥介	受付
懇親会	松野哲男・山口覚	懇親会、弁当手配
託児所	三木雅子	託児所の準備・運営
Web・広報	中島涼輔	Web、PDFパンフ、広報、一般公開イベント

一般公開イベント

「みんなで行こう！ベールにおおわれた宇宙・地球の世界へ」

(地球電磁気・地球惑星圏学会 2025年一般公開イベント)

● 会 場 神戸大学百年記念館

● 日 時 11月23日(日・祝) 13:00～17:00

● 企画内容

※参加費無料

☆ 伊与原新さんとはかせのトークショー(事前予約制：14:00～15:30)

直木賞作家でSGEPSSの現役会員でもある伊与原さんのご講演からスタート！神戸大学在学時の思い出、研究者から作家への転身、作品に込められた思いなどを存分に語っていただきます。その後は、親交のある学会員や若手会員が加わり、伊与原さんを囲んでの座談会を行います。終了後にはサイン会も開催します。

☆ はかせと実験

最先端で活躍するはかせの解説を聞きながら学べる実験です。

実験A「惑星を電波で探る - ラジオ工作体験」(事前予約制)

実験B「生まれた日の地球儀をペットボトル・キャップで作ろう」(整理券当日配布)

☆ 教えて★はかせ(展示・質問コーナー)

最先端で活躍するはかせが、趣向を凝らした体験型の展示を用意しています。

○オーロラはかせ ○宇宙天気はかせ ○地磁気はかせ

○海はかせ ○デジタル地球儀はかせ(ダジック・アース)

● 関係団体等

主催：地球電磁気・地球惑星圏学会

共催：神戸大学 理学研究科、システム情報学研究科、海洋底探査センター

後援：兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会

● 連絡先 地球電磁気・地球惑星圏学会 アウトリーチ事務局

● E-mail event@sgepss.org

● URL https://sgepss.org/ornew/events/sgepss_event2025

プレスリリース

● 2025秋季期年会中の講演会発表のうち、優秀かつ社会に対するインパクトが強い研究について、講演会の1週間程度前にマスコミ関係者へプレスリリースを行い、学会ホームページ(<https://www.sgepss.org/>)でも公開する予定です。会員の皆様もぜひご覧ください。

● 連絡先 北元(press2025@sgepss.org)

(SGEPSS アウトリーチ部会)

第 1 日 目

11月24日(月)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
	R009 惑星圏・小天体 Planets and Small Bodies コンビーナ： 原田 裕己（京都大学） 安藤 紘基（京都産業大学） 坂田 遼弥（東京大学） 西野 真木（JAXA 宇宙科学研究所） 土屋 史紀（東北大学） 座長： 尾崎 光紀（金沢大学） 原田 裕己（京大理）		R011 データシステム科学 Data System Science コンビーナ： 能勢 正仁（名古屋市立大学） 村山 泰啓（情報通信研究機構） 田中 良昌（国立極地研究所） 堀 智昭（名古屋大学） 藤本 晶子（九州工業大学） 中野 慎也（統計数理研究所） 座長： 藤本 晶子（九工大） 田中 良昌（極地研） 堀 智昭（名大宇地研）
13 : 45	R009-01 BepiColombo Mission Status and Overview of Mercury Flyby Results * Go Murakami, Jones Geraint		R011-01 A Japanese research data repository: GRANTS Data's Challenge * Kenichi Sumimoto
14 : 00	R009-02 Observation of Mercury Magnetosphere During Mercury Flyby #4 and #6 by MPPE on BepiColombo/Mio * Yoshifumi Saito, Lina Hadid, Dominique Delcourt, Nicolas Andre, Masafumi Hirahara, Stas Barabash, Yuki Harada, Shoichiro Yokota, Sae Aizawa, Mathias Rojo, Kazushi Asamura, Yoshifumi Futaana, Takeshi Takashima		
14 : 15	R009-03 Significance of background electron temperature inferred from whistler-mode wave propagation in Mercury's magnetosphere * Mitsunori Ozaki, Satoshi Yagitani, Yasumasa Kasaba, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Fouad Sahraoui, Laurent Mirioni, Gérard Chanteur, Go Murakami		R011-02 Metadata conversion and registration in institutional repositories to improve the visibility and findability of research data * Atsuki Shinbori, Masahito Nose, Yoshizumi Miyoshi, Tomoaki Hori, Tsukasa Ohira, Sachie Tanaka, Chizuko Naoe, Shiho Kanada, Rui Gakiya, Maiko Okamoto, Takeshi Sagara, Yoshimasa Tanaka, Shuji Abe, Satoru Ueno, Shun Imajo, Takuya Ashikita, Yuko Hori, Toshiyuki Shimizu, Kenshi Hyodo, Sato Osawa, Kaoru Hirano
14 : 30	R009-04 Study of Na source regions in the Mercury's magnetosphere based on systematic global MHD simulations * Kanako Seki, Manabu Yagi		R011-03 Efforts to promote the sharing and circulation of research data in Kyushu University * Shuji Abe, Takuya Ashikita, Yuko Hori, Akimasa Yoshikawa

第 1 日 目

11月24日(月)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
14 : 45	R009-05 Assessment of Cosmic-Ray-Induced Space Weathering on Mercury's Surface Using Radiation Simulations * Gaku Kinoshita, Yudai Suzuki, Kazuo Yoshioka		R011-04 A study on the effects of noise in the imaging process for the SuperDARN Hokkaido East radar * Shota Hayamizu, Nozomu Nishitani, Yoshiyuki Hamaguchi, Tomoaki Hori, Atsuki Shinbori
15 : 00	R009-06 Dependence of proton and magnetic field structures in Mercury's magnetotail on upstream IMF directions * Tomoki Mori, Yuki Harada, Ayako Matsuoka, Sae Aizawa		R011-05 Weibull-Gaussian Process Regression Modeling of Orbital Lifetime for 1U CubeSats Released from the ISS with Solar Cycle Effects * Akiko Fujimoto, Soushi Fukuda, Mayuri Emoto, Muhammad Suriansyah, Kengo Shundo
15 : 15	R009-07 Mass analysis of refractory ions emitted from the moons and small bodies * Shoichiro Yokota, Ayako Matsuoka, Naofumi Murata, Naoki Terada, Kunihiro Keika, Yuki Harada, Kei Masunaga, Shotaro Sakai, Team Mmx/msa		R011-06 Application of Symbolic Regression to Solar-Terrestrial Physics Data * Masahito Nose, Satoshi Oyama, Ryoichi Koga
15 : 30	R009-08 Development of a Molecular Ion Identification Method for a TOF Ion Mass Spectrometer on Comet Interceptor Using Simulated Data * Ryo Tao, Satoshi Kasahara (15:45 - 16:05 休憩)		R011-07 Explainable machine learning of the dark count observed by an Earth-orbiting UV telescope * Ryoichi Koga, Satoshi Oyama, Masahito Nose, Kazuo Yoshioka (15:45 - 16:05 休憩)
		R010 宇宙天気・宇宙気候 ～観測、シミュレーション、その融合～ Space Weather/Space Climate コンビーナ： 塩田 大幸（情報通信研究機構） 池田 昭大（鹿児島工業高等専門学校） 渡邊 恭子（防衛大学校） 高橋 直子（情報通信研究機構） 座長： 塩田 大幸（NICT）	
	座長： 益永 圭（山形大） 西野 真木（宇宙航空研究開発機構）		座長： 能勢 正仁（名市大DS研究科） 村山 泰啓（京大） 中野 慎也（統数研）
16 : 05	R009-09 Spatial and temporal variability of low-energy lunar Ions: Insights from Kaguya/IMA observations * Kei Masunaga, Yuki Harada, Shoichiro Yokota, Naoki Terada, Kunihiro Keika, Shotaro Sakai, Ayako Matsuoka, Yoshifumi Saito, Daiba Kato	R010-01 Feasibility Study of Solar Flare Prediction Using Observational Data-Driven MHD Simulations * Takafumi Kaneko	R011-08 Data Systems of JAXA's Earth Observation Satellites and their Evolution * Misako Kachi, Takuji Kubota, Hideyuki Muramatsu, Yosuke Ikehata, Shinichi Sobue

第 1 日 目

11月24日(月)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
16 : 20	R009-10 Mechanisms of Ion-Driven Positive Charging in Lunar Cavities under Variable Flow-to-Thermal Speed Conditions * Jin Nakazono, Yohei Miyake, Wojciech J. Miloch	R010-02 Mass Contribution to Coronal Mass Ejections(CMEs) from Plasma Flow in Dimming Regions * Yuto Hiraoka, Shinsuke Imada, Munehito Shoda	
16 : 35	R009-11 Variations of photoelectron emission from the lunar surface with solar activity * Masahisa Kato, Yuki Harada, Shaosui Xu, Andrew R. Poppe, Jasper S. Halekas	R010-03 Empirical Optimization of the Source-Surface Height in the PFSS extrapolation * Munehito Shoda, Kyogo Tokoro, Daikou Shiota, Shinsuke Imada	R011-09 Database for scanned daily plots of Toyokawa Radio Polarimeters and estimation of the size of past large solar flares * Satoshi Masuda, Keitarou Matsumoto, Masumi Shimojo, Hisashi Hayakawa
16 : 50	R009-12 Status of ultraviolet space telescope LAPYUTA * Fuminori Tsuchiya, Go Murakami, Atsushi Yamazaki, Shingo Kameda, Masato Kagitani, Kazuo Yoshioka, Ryoichi Koga, Jun Kimura, Tomoki Kimura, Chihiro Tao, Kei Masunaga, Shotaro Sakai, Yoji Nakayama, Masahiro Ikoma, Norio Narita, Masami Ouchi, Masaomi Tanaka, Masaki Kuwabara, Umi Enokidani, Shin Toriumu Kosuke Namekata	R010-04 The effect of the radial profile of flux-tube shape on solar wind speed * Kyogo Tokoro, Munehito Shoda, Shinsuke Imada	R011-10 Current status and challenges for data utilization at Kakioka Magnetic Observatory * Seiki Asari, Shingo Nagamachi, Kenji Morinaga
17 : 05	R009-13 Development of High-Reflectivity Ultraviolet Mirrors for LAPYUTA * Umi Enokidani, Go Murakami, Atsushi Yamazaki, Ayaka Tadokoro, Shingo Kameda, Masato Kagitani, Fuminori Tsuchiya	R010-05 Development of a Data Archive for the SUSANOO-SW Model and Its Applications * Shota Chiba, Daikou Shiota, Yoshizumi Miyoshi, Tomoaki Hori, Chaewoo Jun, Atsuki Shinbori, Naritoshi Kitamura, Kazuhiro Yamamoto, Tomonori Segawa, Haruhisa Iijima, Satoshi Masuda, Kazumasa Iwai	R011-11 Development of an integrated data archive for the BepiColombo/MMO satellite * Tomoaki Hori, Yoshizumi Miyoshi, Chaewoo Jun, Atsuki Shinbori, Naritoshi Kitamura, Kazuhiro Yamamoto, Shota Chiba, Tomonori Segawa, Shoya Matsuda, Shin-ya Murakami, Sae Aizawa, Yuki Harada, Iku Shinohara, Kazushi Asamura, Go Murakami, Takuya Hara
17 : 20	R009-14 Plasma properties from Io's to Europa's orbit estimated from the Hisaki observation * Natsuko Matsushita, Fuminori Tsuchiya, Kazuo Yoshioka, Yasumasa Kasaba, Shinnosuke Satoh, Shotaro Sakai, Saniya Sanada, Atsushi Yamazaki, Go Murakami, Tomoki Kimura, Hajime Kita, Ichiro Yoshikawa	R010-06 Real time monitoring of the rigidity spectrum of Forbush decreases using neutron monitor and muon detector at Syowa Station * Yuki Hayashi, Kazuoki Munakata, Masayoshi Kozai, Ryuho Kataoka, Akira Kadokura, Chihiro Kato, Shoko Miyake, Kiyoka Murase	R011-12 Latest status of the data management of the SuperDARN network (2025) * Nozomu Nishitani, Akira Sessai Yukimatu, Tomoaki Hori

第 1 日 目

11月24日(月)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
17 : 35	R009-15 Hydrodynamic numerical experiments on condensation-inhibited convection in Jupiter's atmosphere * Iroha Miyamoto, Kensuke Nakajima, Ko-ichiro Sugiyama	R010-07 Upgrading the Cosmic-Ray Muon Observation System and the Iceland Deployment Plan * Masayoshi Kozai, Akira Kadokura, Chihiro Kato, Kazuoki Munakata, Naoko Miyashita, Yuki Hayashi, Ryuho Kataoka, Shoko Miyake, Kiyoka Murase, Yoshimasa Tanaka	R011-13 Development Status of an Online Integrated Research Platform for Large-Scale Data Analysis of EISCAT_3D * Taishi Hashimoto, Yasunobu Ogawa, Mizuki Fukizawa, Takanori Nishiyama
17 : 50	R009-16 Lifetime of chloride salts on Europa estimated from plasma irradiation experiments * Miyu Okumoto, Tomoki Kimura, Yusuke Nakauchi, Fuminori Tsuchiya, Shuya Tan, Jun Kimura (18:05 終了)	総合討論 (18:05 終了)	R011-14 COMPASS: An IIIF-based Portal for Over 1.3 Million Historical Magnetogram Records * Shun Imajo, Ayako Matsuoka, Hiroaki Toh, Tsubasa Kotani, Toshihiko Iyemori, Masahito Nose, Hisashi Hayakawa, Yoko Odagi (18:05 終了)

第 2 日 目

11月25日(火)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
	R009 惑星圏・小天体 Planets and Small Bodies コンビーナ： 原田 裕己（京都大学） 安藤 紘基（京都産業大学） 坂田 遼弥（東京大学） 西野 真木（JAXA 宇宙科学研究所） 土屋 史紀（東北大学） 座長： 今井 雅文（チェコ科学アカデミー 大気物理研究所） 土屋 史紀（東北大）	R010 宇宙天気・宇宙気候 ～観測、シミュレーション、 その融合～ Space Weather/Space Climate コンビーナ： 塩田 大幸（情報通信研究機構） 池田 昭大（鹿児島工業高等専門学校） 渡邊 恭子（防衛大学校） 高橋 直子（情報通信研究機構） 座長： 高橋 直子（NICT）	R011 データシステム科学 Data System Science コンビーナ： 能勢 正仁（名古屋市立大学） 村山 泰啓（情報通信研究機構） 田中 良昌（国立極地研究所） 堀 智昭（名古屋大学） 藤本 晶子（九州工業大学） 中野 慎也（統計数理研究所） 座長： 藤本 晶子（九工大） 田中 良昌（極地研） 堀 智昭（名大宇地研）	R003 地球・惑星内部電磁気学(電 気伝導度、地殻活動電磁気学) Solid Earth Electromagnetism コンビーナ： 井上 智裕（産業技術総合研究所） 坂中 伸也（秋田大学） 座長： 坂中 伸也（秋田国際資源） 井上 智裕（産総研）
9 : 15	R009-17 Habitable Worlds Observatory (HWO): Overview of the project and Japan's participation plan * Keigo Enya, Shingo Kameda, Takahiro Sumi, Satoshi Miyazaki, Atsushi Yamazaki, Go Murakami, Kenta Yoneta, Aoi Takahashi, Toru Yamada, Hajime Kawahara, Shota Miyazaki, Noriko Yamasaki, Iona Kondo, Nana Higashio, Naoshi Murakami, Motohide Tamura, Masayuki Kuzuhara, Takayuki Kotani, Jun Nishikawa, Masami Ouch, Masahiro Ikoma, Taro Matsuo, Satoshi Itoh, Norio Narita, Olivier Guyon	R010-08 Modeling of plasma environment for spacecraft surface charging analysis in the inner magnetosphere * Masao Nakamura, Daichi Matsui	R011-15 FAIR Principles and Generative AI * Asanobu Kitamoto	R003-01 An Adaptive Hexahedral FEM with 3D Nodal Displacement for CSEM Modeling and Its Application to a Hydrothermal System * Norihiro Kitaoka, Yasuo Ogawa, T. Grant Caldwell, Keiichi Ishizu, Takuto Minami, Alison Kirkby
9 : 30	R009-18 Conceptual study of UV Integral Field Spectrograph and High- Resolution Spectrograph onboard Habitable Worlds Observatory * Shingo Kameda, Go Murakami, Masaki Kuwabara, Atsushi Yamazaki	R010-09 Identification of auroral emission altitudes associated with relativistic electron precipitation events observed by ISS-CALET * Kyutaro Yanagisawa, Ryuho Kataoka, Kanako Seki, Kazuo Shiokawa, Yoshizumi Miyoshi, Shoji Torii, Satoshi Nakahira, Connors Martin, Whiter Daniel		R003-02 Electrical Resistivity Anisotropy in Brine-Saturated Rocks during Triaxial Deformation * Suzuki Takeshi, Jiei So, Yuya Akamatsu, Kazuki Sawayama, Ikuro Katayama

第 2 日 目

11月25日(火)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
9 : 45	R009-19 Development of a Simplified Analytical Model for Exoplanetary Auroral Radio Emission * Satyagraha Asa, Tomoki Kimura, Yuka Fujii, Chihiro Tao, Ryota Hara	R010-10 Three-dimensional structure and causality of global ionospheric currents triggered by Region-1 FAC * Takuya Ijuin, Akimasa Yoshikawa	R011-16 Future perspective of scholarly information objects connected to research data * Yasuhiro Murayama, Miyairi Nobuko	R003-03 Three-dimensional Magnetotelluric Inversion based on a Data Space variant of Akaike's Bayesian Information Criterion * Han Song, Peng Yu, Yoshiya Usui, Makoto Uyeshima, Dieno Diba, Luolei Zhang, Chongjin Zhao
10 : 00	R009-20 Ray Tracing for Titan's Ionospheric Occultation of Saturn Radio Emissions: Implications for JUICE Mission * Rikuto Yasuda, Hiroaki Misawa, Baptiste Cecconi, Corentin Louis, Tomoki Kimura, Takeru Kato, Yasumasa Kasaba, Fuminori Tsuchiya, Thomas Gautier, Shotaro Sakai	R010-11 Ionospheric convection associated with low-latitude auroras – dependence on geomagnetic activity * Nozomu Nishitani, Tomoaki Hori, Keisuke Hosokawa, Atsuki Shinbori, Yuki Obana, Mariko Teramoto, Kazuo Shiokawa, Ryuho Kataoka	R011-17 Report of WDS Asa-Oceania Conference 2025 * Takashi Watanabe	R003-04 Two-Dimensional MT Inversion with Impedance and Tipper Response using KLU, Cholesky, and BiCGSTAB Solvers * Gita Amelia Marianto Limbong, Nurhasan Nurhasan
10 : 15	R009-21 Comparison of Titan's atmospheric escape processes driven by the Kronian and solar winds using 3D magnetohydrodynamic simulations * Ryoma Takada, Tomoki Kimura, Shotaro Sakai, Yuki Maeda, Eitaro Nakada, Yuri Kusano, Naoki Terada	R010-12 Subauroral Joule-heat estimate using SuperDARN data assimilation via AI emulator of REPPU global MHD simulation * Ryuho Kataoka, Nilam Bhosale, Shinya Nakano, Shigeru Fujita, Aoi Nakamizo, Reddy Sachin, Tikemani Bag, Akira Yukimatu, Takashi Tanaka	R011-18 Humanosphere Database in RISH, Kyoto University * Hiroyuki Hashiguchi, Tomoya Imai, Mamoru Yamamoto	R003-05 On statistical confidence interval inference of resistivity for a target block in optimal resistivity model using a paired t-test * Masahiro Ichiki, Weerachai Siripunvaraporn
10 : 30	R009-22 Non-thermal escape of hydrogen atmosphere on early Earth by a 3D multispecies MHD simulation * Yuri Kusano, Tomoki Kimura, Shotaro Sakai, Tatsuya Yoshida, Yuki Maeda, Eitaro Nakada, Ryoma Takada, Naoki Terada (10:45 – 11:05 休憩)	R010-13 Impacts of Large-Scale Ionospheric Disturbances on High-Precision GNSS Positioning During Solar Maximum * Satoshi Fujiwara, Motoyuki Hosoya, Masunori Kitada (10:45 – 11:05 休憩)	R011-19 Overview and Future Directions of World Data Center for Ionosphere and Space Weather * Hidekatsu Jin, Chihiro Tao, Takuya Tsugawa, Mamoru Ishii (10:45 – 11:05 休憩)	R003-06 Estimation of Kozushima subsurface resistivity structure using tsunami-induced electric fields from the 2011 Tohoku earthquake * Tetsuji Takebayashi, Takuto Minami, Makoto Uyeshima (10:45 – 11:05 休憩)

第 2 日 目

11月25日(火)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
11 : 05	座長： 青木 翔平（東京大学） 坂田 遼弥（東京大学） R009-23 MAVEN Observations of Collisional Effects on Magnetic Reconnection in the Martian Ionosphere * Yuki Harada, Thomas E. Cravens, David A. Brain, Jasper S. Halekas, Janet G. Luhmann, Christopher M. Fowler, Gwen Hanley, James P. Mcfadden	座長： 渡邊 恭子（防衛大） R010-14 Impact of ionospheric disturbances on next generation SBAS broadcast from QZSS in the Arctic * Toru Takahashi, Takanori Nishiyama, Mitsunori Kitamura, Susumu Saito, Taishi Hashimoto, Takeyasu Sakai	座長： 能勢 正仁（名市大DS研究科） 村山 泰啓（京大） 中野 慎也（統数研） R011-20 Deep learning modeling based on the feature compression in solar atmospheric observation * Yusuke Iida, Jargalmaa Batmunkh, Kousuke Asatsuma, Tomoki Kubo, Ryuken Uda	座長： 鈴木 健士（産総研） 井上 智裕（産総研） R003-07 Electromagnetic ocean tidal signals for oceanic monitoring * Jan Saynisch, Julien Baerenzung, Aaron Hornschild, Christopher Irrgang
11 : 20	R009-24 Eleven-ion multifluid simulation study on the effects of crustal magnetic fields at Mars * Ryoya Sakata, Kanako Seki, Naoki Terada, Shotaro Sakai, Hiroyuki Shinagawa	R010-15 Enhancement of ionospheric sporadic E layer during May 2025 super magnetic storm: global distribution and mechanisms * Huixin Liu, Lihui Qiu		
11 : 35	R009-25 Effects of magnetic field structures on Martian diffuse auroras based on MAVEN observations * Taishin Okiyama, Kanako Seki, Yuki Nakamura, Nicholas M. Schneider, Sonal K. Jain, Justin Deighan, Sumedha Gupta, Robert J. Lillis, Ali Rahmati, Davin E. Larson, Christina O. Lee, Rebecca D. Jolitz, Patrick A. Dunn, Gina A. Dibraccio, Shannon Curry	R010-16 Lower Thermospheric Response to the Severe Geomagnetic Storm during October 2024 Revealed by X-ray Observations * Satoru Katsuda, Chihiro Tao, Koji Mori, Yoshizumi Miyoshi, Hiroyuki Shinagawa, Yoshiaki Kanemaru, Ehud Behar, Hitoshi Fujiwara, Hidekatsu Jin, Eric Miller, Yasunobu Miyoshi, Yuko Mochizuki, Kazuhiro Nakazawa, Kumiko Nobukawa, Yuken Ohshiro, Robert Petre, Hiromasa Suzuki, Toru Tamagawa, Makoto Tashiro, Soma Tsuchiya	R011-21 A novel reconstruction method of auroral electron flux using neural network * Yoshimasa Tanaka, Nazar Misyats, Satoshi Ikehata	R003-08 Three-Dimensional Resistivity Structure and Its Relation to Seismic Activity in the Northern Noto Peninsula * Ryokei Yoshimura, Yoshihiro Hiramatsu, Tada-nori Goto, Takafumi Kasaya, Rintarou Miyamachi, Jun Nakagawa, Nagi Yamashita, Rei Amano, Masato Fukata, Amane Sugii, Mitsuteru Fukuoka, Taisei Inui, Kenichi Yamazaki, Shintaro Komatsu, Takuya Iwahori, Masahiro Yoshikawa, Yusuke Ohta, Satoshi Ogura, Yoichiro Kitani, Shozo Ogiso, Marin Takasu, Takayuki Okamura, Miku Sakurai, Ryoichi Kitatani, Ayako Namigishi, Airi Nagaoka, Yasuto Tatsuyama, Akihiro Sawada, Ce Zhang, Yuya Jinde, Yuki Oshima

第 2 日 目

11月25日(火)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
11 : 50	R009-26 Study of global SEP precipitation into Martian atmosphere based on PTRIP and MAESTRO models * Yusei Nishiya, Yuki Nakamura, Kanako Seki, Ryoya Sakata, Shotaro Sakai, Naoki Terada, Hiroyuki Shinagawa	R010-17 Effects of Large-Scale Space Weather on the Earth's Upper Atmosphere from Satellite Orbital Changes * Hayato Tanaka, Takao Nakagawa, Satoshi Nozawa, Toru Tamagawa, Naoyuki Ota, Tomoshi Takeda, Teruaki Enoto, Wataru Iwakiri, Takao Kitaguchi, Tatehiro Mihara, Amira Aoyama, Tomoko Iwata, Toyoyuki Kita, Takuya Takahashi, Kaede Yamazaki, Souma Tsuchiya, Yousuke Nakano, Mayu Ichibangase	R011-22 Using recurrent neural networks trained by Kalman filter to produce geomagnetic secular variation/ acceleration forecasts * Sho Sato, Hiroaki Toh, Shinya Nakano, Vincent Lesur, Masaki Matsushima, Takuto Minami	R003-09 The resistivity structure of Izu peninsula inferred from broadband magnetotelluric surveys * Tomohiro Inoue, Koki Aizawa, Hiromichi Shigematsu, Kensuke Nakamura, Takayuki Honda, Issei Hirata, Rion Ikuta, Shinichi S. Tanaka, Atsushi Watanabe, Takahiro Akiyama, Chikaaki Fujita, Taro Nishimoto, Takao Koyama, Jun Nakagawa, Airi Nagaoka, Rintaro Miyamachi, Ryokei Yoshimura, Fumihisa Yoshizawa, Yuichi Morita
12 : 05	R009-27 Global trends of the martian nightside ionosphere and the effects of upstream drivers and crustal fields based on MEX and MAVEN * Naoyuki Takeuchi, Yuki Harada, Beatriz Sánchez-cano	R010-18 Space weather forecast operation: current status and future developments * Yuki Kubo	R011-23 Development of an Automatic Detection System for Spacecraft Surface Charging Using CNNs and Investigation of Plasma Environment * Hayato Masuno, Mariko Teramoto, Daichi Araki, Yusuke Iida, Akitoshi Hanazawa, Teppei Okumura, Hiroyuki Okamoto, Kentaro Kitamura	R003-10 A Practical Approach for Estimating Temporal Resistivity Changes in Volcanoes Using Broadband Magnetotelluric Data * Koki Aizawa, Nobuo Matsushima, Yasuo Matsunaga, Takao Koyama, Hideaki Hase, Makoto Uyeshima
12 : 20	R009-28 Statistical study of ion escape from Mars during CIR events based on MAVEN observations * Rima Kamei, Kanako Seki, Takuya Hara, Kunihiro Keika, R. Ramstad, D.A. Brain, J.P. Mcfadden, K.G. Hanley, C. Fowler, J.S. Halekas, G.A. Dibraccio, S.M. Curry		R011-24 Root Cause Analysis in Multivariate Time-Series Data Using Granger Causality * Keita Ohmori, Akiko Fujimoto, Toshiki Saitoh, Eiji Miyano	R003-11 Comparison of Resistivity Heterogeneity in Subduction Zones to Clarify the Formation Mechanism of Island Arc Volcanoes (2) * Maki Hata, Grant Caldwell, Makoto Uyeshima, Alex Caldwell, Ryokei Yoshimura, Yasuo Ogawa, Ted Bertrand, Stewart Bennie, Wiebke Heise
12 : 30	(12:35 - 13:45 昼休み)	総合討論 (12:35 - 13:45 昼休み)	(12:35 - 13:45 昼休み)	(12:35 - 13:45 昼休み)

第 2 日 目

11月25日(火)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
	座長： 今井 正堯（東大 天文センター） 安藤 紘基（京産大）	座長： 池田 昭大（鹿児島高専）	R007 太陽圏 Heliosphere コンピーナ： 成行 泰裕（富山大学学術研究部教育学系） 岩井 一正（名古屋大学宇宙地球環境研究所） 西野 真木（JAXA 宇宙科学研究所） 坪内 健（電気通信大学） 座長： 庄田 宗人（東大地惑） 岩井 一正（名大）	R004 地磁気・古地磁気・岩石磁気 Geomagnetism/ Paleomagnetism/ Rock Magnetism コンピーナ： 佐藤 雅彦（東京理科大学） 望月 伸竜（熊本大学） 座長： 佐藤 雅彦（東理大） 望月 伸竜（熊本大学）
13 : 45	R009-29 Martian water loss to space driven by a rocket dust storm * Shohei Aoki, Adrian Brines, Frank Daerden, Michael Chaffin	R010-19 New space weather alert considering social impact and space weather information usage guideline * Takuya Tsugawa	R007-01 Development Status of the Next-Generation Solar Wind Observation System and Its Application to Solar Wind Studies * Kazumasa Iwai, Ken'ichi Fujiki	R004-01 A condition for long-term geodynamo operation with a stable stratified layer at the top of outer core * Takashi Nakagawa
14 : 00	R009-30 Development of Hydrogen/Deuterium Absorption Cells Using Platinum Filaments * Madoka Endo, Makoto Taguchi, Masaki Kuwabara, Kazuo Yoshioka	R010-20 Prediction of the Dst index using Physics-Informed Neural Networks * Tsuyoshi Nishino, Yoshizumi Miyoshi, Yuta Kato, Chihiro Mitsuda	R007-02 Evaluation of Uncertainty in CME Arrival-Time in SUSANOO Using Observation-Based CME Magnetic Flux Estimation * Hirofumi Isogai, Kazumasa Iwai, Daikou Shiot, Ken'ichi Fujiki	R004-02 Investigation of the thermal structure at the inner core boundary (ICB) in numerical dynamos including the latent heat at ICB * Hiroaki Matsui
14 : 15	R009-31 Classification and Global Analysis of High- and Low-Altitude Dust on Mars Using 2.77 μm and 2.01 μm from OMEGA/MEx * Akira Kazama, Yann Leseigneur, Thomas Gautier, Shohei Aoki, Yasumasa Kasaba, Hiromu Nakagawa, Isao Murata	R010-21 The extreme solar and geomagnetic storms in February 1872 and their terrestrial impacts * Hisashi Hayakawa	R007-03 Analysis of interplanetary scintillation observed at 327 MHz by spectral fitting and its results * Rikuto Nagashima, Kazumasa Iwai, Ken'ichi Fujiki, Shota Chiba	R004-03 Changes in core flow structures associated with polarity reversals in an MHD simulation * Takumi Kera, Hiroaki Matsui, Masaki Matsushima, Yuto Katoh
14 : 30	R009-32 Aerosol transport by traveling waves in the Martian atmosphere studied with MRO/MCS data * Nozomi Kakinuma, Shohei Aoki, Takeshi Imamura, Katsuyuki Noguchi, Armin Kleinböhl	R010-22 Statistical analysis of blackout prediction parameters using ionosondes * Shinnosuke Kitajima, Kyoko Watanabe, Hidekatsu Jin, Chihiro Tao, Satoshi Masuda, Michi Nishioka	R007-04 Radial evolution of Alfvén wave Parametric Decay Instability in the expanding near-sun solar wind: Role of Temperature Anisotropy * Hayato Saguchi, Yohei Kawazura, Munehito Shoda, Yuto Katoh	R004-04 Exploring the Magnetic Evolution of Protoplanetary Disks with Theory and Solar System Material Studies * Satoshi Okuzumi

第 2 日 目

11月25日(火)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
14 : 45	R009-33 Development of a 0.9-THz-band hermonic mixer detector of THSS for Martian Atmospheric Observations Yudai Matsumoto, Takuto Oda, Takaaki Sato, Shinsuke Takumi, Hinako Fujimaki, * Hiroyuki Maezawa	R010-23 Challenge to establish global ground-based observation community * Mamoru Ishii	R007-05 On approximation of time correlations in anisotropic magnetohydrodynamic turbulence * Yasuhiro Nariyuki	
15 : 00	R009-34 Derivation of vertical profiles of sulfur dioxide (SO2) in the Venus cloud layer from Akatsuki radio occultation measurements * Katsuyuki Noguchi, Hinako Onuma, Hiroki Ando, Takeshi Imamura, Hideo Sagawa	R010-24 Education of Observation and Data Processing with a Digital Image-Recording Soda Bottle Magnetometer * Shun Imajo	R007-06 Rankine-Hugoniot equations in anisotropic plasmas: Application to the heliospheric termination shock * Ken Tsubouchi	R004-05 Reconstruction of protoplanetary disk magnetic field from chondrule measurements of the Aba Panu meteorite * Risa Morita, Masahiko Sato
15 : 15	R009-35 Waves driving the temperature and tropopause height variations with time scales of several days in the Venusian polar cloud layer * Miyu Sugiura, Takeshi Imamura, Hiroki Ando, Hiroki Kashimura	総合討論		R004-06 Reconstructing the Noachian Martian dynamo from crustal magnetic anomalies * Masahiko Sato, Masashi Ushioda, Ryoichi Nakada, Yujiro Tamura, Shinji Yamamoto, Kazuhito Ozawa, Futoshi Takahashi, Ryoya Sakata, Kanako Seki, Chi Yan
15 : 25				
15 : 30	R009-36 Science Goals of OPENS-0: Outer Planet Exploration by Novel Small Spacecraft * Takeshi Imamura, Hajime Yano, Kazuyoshi Arai, Shun-ichi Kamata, Hajime Kawahara, Naoya Sakatani, Shuji Matsuura, Yuhito Shibaike, Hiroshi Kobayashi, Haruna Sugahara, Hiroki Ando, Katsuyuki Noguchi, Shota Chiba, Ryu Funase (15:45 終了)	 (15:45 終了)	 (15:45 終了)	R004-07 Estimation of the vertical magnetization structure of the oceanic crust and implications for its origin * Ryosuke Suzuki, Nobukazu Seama, Chiori Tamura, Masanari Ashida, Seitaro Ono, Kyoko Okino, Masakazu Fujii (15:45 終了)

第 2 日 目

11月25日(火)

開始時間	
16：05－18：35	第158回総会（百年記念館六甲ホール）

第 3 日 目

11月26日(水)

開始時間	
田中館賞受賞講演（百年記念館六甲ホール） 司会 中村 卓司（第33期会長）	
11：05－11：50	「非理想太陽風磁気流体波の理論的研究」 成行 泰裕 会員（富山大学）
11：55－12：40	「データ同化および機械学習による宇宙・地球電磁気現象の研究」 中野 慎也 会員（統計数理研究所）
特別講演（百年記念館六甲ホール） 司会 島 伸和（2025年秋季年会大会委員長）	
13：45－14：30	「AI向けプロセッサの将来と大規模シミュレーション」 牧野 淳一郎 博士（神戸大学理学研究科惑星学専攻・特命教授 / Preferred Networks）
18：45－20：45	懇親会（理学研究科Z棟201/202号室）

第 3 日 目

11月26日(水)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
9 : 15			R008 宇宙プラズマ科学 Space Plasma Science コンピーナ： 三宅 洋平（神戸大学大学院システム 情報学研究科） 天野 孝伸（東京大学大学院理学系研究科） 諫山 翔伍（九州大学総合理工学研究院） 成行 泰裕（富山大学学術研究部教育学系） 梅田 隆行（北海道大学情報基盤センター） 座長： 天野 孝伸（東京大学） 松清 修一（九大） R008-01 Dependence of magnetic reconnection outflow on the current sheet condition * Koji Kondoh R008-02 Relationship between Hall effect and reconnection rate with multi- hierarchy simulation * Keita Akutagawa, Shinsuke Imada, Munehito Shoda R008-03 Reconstruction of Magnetohydrodynamic (MHD) Reconnection Structures by Physics- informed Neural Networks (PINNs) * Shogo Isayama, Hikaru Simooka, Ryo Kono, Shuichi Matsukiyo R008-04 The dissipation effect variations in resistive MHD shock waves * Tohru Shimizu	R004 地磁気・古地磁気・岩石磁気 Geomagnetism/ Paleomagnetism/ Rock Magnetism コンピーナ： 佐藤 雅彦（東京理科大学） 望月 伸竜（熊本大学） 座長： 吉村 由多加（九州大学） 穴井 千里（九州大学） R004-08 The effect of lithological changes on paleointensity estimates based on the piston cores from Shatsky Rise * Yoichi Usui R004-09 Paleointensity-assisted chronostratigraphy of a sediment core from the Southern Ocean * Toshitsugu Yamazaki, Aya Osanai, Minoru Ikehara, Tadahiro Hatakeyama, Asuka Yamaguchi R004-10 Evaluation of magnetostatic interactions for sediment samples using the oblique anhysteretic remanent magnetization * Sohto Usui, Masahiko Sato, Toshitsugu Yamazaki R004-11 Preliminary results of rock- magnetic study on volcanic ash from the 2014-2015 eruption of Nakadake first crater, Aso Volcano * Chisato Anai, Takahiro Ohkura, Nobutatsu Mochizuki, Shin Yoshikawa, Yasuo Miyabuchi
9 : 30				
9 : 45				
10 : 00				

第 3 日 目

11月26日(水)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
10 : 15			R008-05 Observational studies of thermal and non-thermal electron energy partition at Earth's bow shock * Ryuichiro Honda, Takanobu Amano	R004-12 Investigation of thermoremanent and viscous remanent magnetization in the Zenkoji debris avalanche deposits * Takehisa Aoyama, Masahiko Sato, Yujiro J. Suzuki, Tetsuro Sato, Alexey Kotov
10 : 30			R008-06 Energy Partitioning of Ions and Electrons for Parallel Shock Waves * Masahiro Hoshino, Takanobu Amano, Shuichi Matsukiyo (10:45 - 14:50 休憩)	R004-13 Variation in paleomagnetic field during a period of high reversal rate deduced from lava flows in eastern Iceland * Yuto Koremura, Yuhji Yamamoto, Hiroyuki Hoshi, Chie Kato, Jowita Kumek, Justin Tonti-filippini, Elisa Piispa (10:45 - 14:50 休憩)
	R005 大気圏・電離圏 Atmosphere/Ionosphere コンビーナ： 西岡 未知 (情報通信研究機構) 埜 千尋 (情報通信研究機構) 高橋 透 (海上・港湾・航空技術研究所) 座長： 惣宇利 卓弥 (京大 RISH) 高橋 透 (ENRI, MPAT)	R006 磁気圏 Magnetosphere コンビーナ： 寺本 万里子 (九州工業大学) 北村 成寿 (名古屋大学) 吹澤 瑞貴 (国立極地研究所) 松田 昇也 (金沢大学) 山本 和弘 (名古屋大学) 座長： 齋藤 幸碩 (東北大・理) 桑原 正輝 (立教大)	座長： 諫山 翔伍 (九大総理工) 三宅 洋平 (神戸大学)	座長： 加藤 千恵 (九州大学) 藤井 昌和 (NIPR/SOKENDAI)
14 : 50	R005-01 Estimation of thermospheric density from STARLINK TLE * Yamamoto Mamoru, Takuya Sori, Sota Furukawa	R006-01 Origin and structure of the LLBL elucidated by the global simulation * Takashi Tanaka	R008-07 Generation of coherent quasi-parallel whistler waves at Earth's bow shock * Takanobu Amano, Naritoshi Kitamura	R004-14 Geomagnetic vector variation during the polarity reversal recorded in lava sequences in Afar, Ethiopia * Nobutatsu Mochizuki, Ryuichiro Hidaka, Chie Kato, Tesfaye Kidane, Ameha Muluneh, Naoto Ishikawa

第 3 日 目

11月26日(水)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
15 : 05	R005-02 Correction of temperature data from Super-Pressure Balloon observations at Syowa Station, Antarctica * Rina Kawakami, Yoshihiro Tomikawa	R006-02 Stationarity, space charge distribution, and energy transfer in the quasi-steady magnetospheric convection electric field * Yusuke Ebihara, Masafumi Hirahara, Takashi Tanaka	R008-08 Electron Confinement and Associated Acceleration at Quasi-Perpendicular Shocks * Ruolin Wang, Takanobu Amano	R004-15 Testing Thellier paleointensity determinations of ε -Fe ₂ O ₃ bearing volcanic rocks * Koji Fukuma
15 : 20	R005-03 Atmospheric electric field variation at Syowa Station, Antarctica associated with substorm evolution * Yasuhiro Minamoto, Akira Kadokura, Masashi Kamogawa, Yoshimasa Tanaka, Mitsuteru Sato	R006-03 Current structures from magnetic field configurations in Mercury's nightside magnetosphere * Takuro Ogawa, Iku Shinohara, Go Murakami	R008-09 Reflected ions and nonstationarity confirmed in collisionless shock experiment using power laser * Shuichi Matsukiyo, Shogo Isayama, Yuma Sato, Kana Takahashi, Taichi Morita, Taichi Takezaki, Ryo Yamazaki, J. Shuta Tanaka, Takayoshi Sano, Yasuhiro Kuramitsu, Kentaro Sakai, Youichi Sakawa	R004-16 High accuracy age estimate using ultrafine scale magnetostratigraphy on ferromanganese crusts * Hirokuni Oda, Naoto Fukuyo, Masanobu Yamamoto, Akira Usui, Teruhiko Kashiwabara Jun Kawai, Miki Kawabata
15 : 35	R005-04 Development of a time-delayed multi-beam observation method and its implementation to the Tromsø Na lidar * Kota Sato, Takuo Tsuda, Jinyi Hu, Yosuke Moriyama, Yuki Sonoyama, Natsuki Wada, Takeshi Aoki, Norihito Saito, Satonori Nozawa, Tetsuya Kawabata, Takuya Kawahara, Toru Takahashi	R006-04 Kaguya observations of potential electron-only magnetic reconnection signatures on the lunar mini-magnetosphere * Kohei Ogino, Yuki Harada, Yoshifumi Saito, N. Masaki Nishino, Shoichiro Yokota, Futoshi Takahashi, Hisayoshi Shimizu, Yoshiya Kasahara, Atsushi Kumamoto	R008-10 Selective positron acceleration by relativistic electron-positron-ion shocks and its application to astronomical objects * Shori Arai, Yosuke Matsumoto	R004-17 Rock magnetic study of dredged rock samples from Marie Celeste Transform Fault, Central Indian Ridge * Masakazu Fujii, Tomohiro Ito, Shiki Machida, Kazuki Matsuyama, Kyoko Okino
15 : 50	R005-05 Ground-based observation of Venusian aurora using the T60 telescope at Haleakalā * Taishun Ao, Masato Kagitani, Hiromu Nakagawa, Shohei Aoki, Naoki Terada	R006-05 Estimation of a spurious electric field arising from spacecraft charging and photoelectron cloud using PWE/EFD onboard ARASE * Tsubasa Konno, Tomoko Nakagawa, Tomoaki Hori, Yasumasa Kasaba, Shoya Matsuda, Yoshiya Kasahara, Yoshizumi Miyoshi, Fuminori Tsuchiya, Atsushi Kumamoto, Atsuki Shinbori, Ayako Matsuoka	R008-11 The Formation of Jet of M87 Galaxy Revealing Existence of Central Binary of Super Massive Black Hole * Hiroshi Oya	R004-18 Rockmagnetism of hydrothermally heated loess samples; long-term magnetic changes during storage of samples dried after experiment * Masayuki Hyodo, Yusuke Seto, Balazs Bradak

第 3 日 目

11月26日(水)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
16 : 05	総合討論 (16:20 - 16:40 休憩) 座長： 惣宇利 卓弥 (京大 RISH) 高橋 透 (ENRI, MPAT)	R006-06 Correlation of spacecraft potential to the latest electron density data observed by Arase * Keiya Kawagata, Yasumasa Kasaba, Atsuki Shinbori, Koki Tachi, Fuminori Tsuchiya, Yoichi Kazama, Tomoko Nakagawa, Yuto Katoh (16:20 - 16:40 休憩) 座長： 桑原 正輝 (立教大) 齋藤 幸碩 (東北大・理)	総合討論 (16:20 終了)	R004-19 FFT analysis of NRM waveforms using a high-resolution spinner magnetometer * Kazuto Kodama, Zhong Zheng, Aixia Ji (16:20 終了)
16 : 40	R005-06 Simulation of atmospheric waves in the upper atmosphere associated with volcanic eruptions * Hiroyuki Shinagawa, Yasunobu Miyoshi, Hidekatsu Jin, Hiroyo Ohya	R006-07 Observation of rotational temperature meridian distribution of N_2 1PG using hyperspectral camera (HySCAI) * Katsumi Ida, Mikirou Yoshinuma, Yusuke Ebihara		
16 : 55	R005-07 Research on the impact of the 2022 HTHH Eruption's water vapor anomaly on PMC activities based on Himawari-8/9 observations * Yosuke Moriyama, Takuo Tsuda, Yoshiaki Ando, Hidehiko Suzuki, Hiromu Nakagawa, Takanori Nishiyama, Yoshimasa Tanaka, Takeshi Murata, Jia Yue	R006-08 Space plasma precipitation and repelling processes by field-aligned electrostatic potential in auroral arc and hole * Masafumi Hirahara, Yusuke Ebihara, Takeshi Sakanoi		
17 : 10	R005-08 Anisotropy of traveling Ionospheric disturbances measured by TEC after the 2024 Noto-Peninsula earthquake * Mumi Ishimoto, Yoshihiro Kakinami, Hiroaki Saito	R006-09 Temporal evolution of low-energy electron precipitation in longitudinally elongated moving cusp auroras * Kazuki Yashima, Satoshi Taguchi, Haruto Koike, Keisuke Hosokawa		

第 3 日 目

11月26日(水)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
17 : 25	R005-09 Multi-Source Ionospheric Disturbances and Conjugate effects During The 2024 Typhoon Shanshan * Junxian Fu, Yuichi Otsuka	R006-10 Conjugate Observations of Faint Diffuse Emission at Subauroral Latitudes Using Arase and Ground Cameras: Multiple Event Analysis * Masaki Gomi, Kazuo Shiokawa, Yoshizumi Miyoshi, Yuichi Otsuka, Shin-ichiro Oyama, Martin Connors, Atsuki Shinbori, Tomoaki Hori, Chaewoo Jun, Kazuhiro Yamamoto, Iku Shinohara, Kazushi Asamura, Satoshi Kasahara, Kunihiro Keika, Shoichiro Yokota, Fuminori Tsuchiya, Atsushi Kumamoto, Yoshiya Kasahara, Yoichi Kazama, Shiang-yu Wang, Sunny W.Y. Tam, Ayako Matsuoka		
17 : 40	R005-10 Quantitative Analysis of Typhoon-Induced Atmosphere-Ionosphere Coupling from Ground Magnetic Data * Miki Nishimura, Akimasa Yoshikawa, Teiji Uozumi	R006-11 Phase Mixing and Formation of Low Plasma Density Region by Nonlinear Ampere Force: Implication for IAWs Development * Kosuke Kawakami, Akimasa Yoshikawa, Keiichiro Fukazawa, Hayato Higuchi		
17 : 55	R005-11 Pc3 geomagnetic pulsations excited by earthquakes * Toshihiko Iyemori, Tadashi Aoyama, Yoshihiro Yokoyama	R006-12 Pulsating aurora electrons observed by LAMP sounding rocket * Taisei Noda, Yoshizumi Miyoshi, Keisuke Hosokawa, Kazushi Asamura, Takeshi Sakanoi, Shinji Saito, Marc Lessard, Alison Jaynes, Mike Shumko, Halford Alexa, Taku Namekawa, Takefumi Mitani, Masahito Nose, Geoff Mcharg, Vincent Ledvina, Don Hampton		

第 3 日 目

11月26日(水)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
18 : 10	総合討論 (18:25 終了)	R006-13 Event Analysis of Chorus-Wave-Induced Electrons with LEO Satellite Surface Charging Using Arase and DMSP Satellite Data * Daichi Araki, Mariko Teramoto, Hayato Masuno, Yoshiya Kasahara, Atsushi Kumamoto, Fuminori Tsuchiya, Shoya Matsuda, Satoshi Kasahara, Yoichi Kazama, Ayako Matsuoka, Tomoaki Hori, Atsuki Shinbori, Kazuhiro Yamamoto, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara, Teppei Okumura, Kiyokazu Koga, Hiroyuki Okamoto, Kentaro Kitamura (18:25 終了)		

第 4 日 目

11月27日(木)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
	R005 大気圏・電離圏 Atmosphere/Ionosphere コンビーナ： 西岡 未知（情報通信研究機構） 埜 千尋（情報通信研究機構） 高橋 透（海上・港湾・航空技術研究所） 座長： 新堀 淳樹（名大宇地研） 安藤 慧（NICT）	R006 磁気圏 Magnetosphere コンビーナ： 寺本 万里子（九州工業大学） 北村 成寿（名古屋大学） 吹澤 瑞貴（国立極地研究所） 松田 昇也（金沢大学） 山本 和弘（名古屋大学） 座長： 山川 智嗣（名古屋大学） 頭師 孝拓（奈良高専）	R008 宇宙プラズマ科学 Space Plasma Science コンビーナ： 三宅 洋平（神戸大学大学院システム情報学研究科） 天野 孝伸（東京大学大学院理学系研究科） 諫山 翔伍（九州大学総合理工学研究院） 成行 泰裕（富山大学学術研究部教育学系） 梅田 隆行（北海道大学情報基盤センター） 座長： 三宅 洋平（神戸大学） 岩本 昌倫（神大）
9 : 15	R005-12 D-region ionospheric variations driven by EUV oscillations during the X5.89 solar flare in May 2024 * Akane Kubota, Hiroyo Ohya, Fuminori Tsuchiya, Hiroyuki Nakata	R006-14 Nonlinear Evolution of Wave Packets of EMIC Rising-tone Emissions * Yoshiharu Omura, Huayue Chen, Xueyi Wang, Yikai Hsieh	R008-12 Propagation of Linearly Polarized Strong Waves in Pair Plasmas * Masanori Iwamoto, Kunihiro Ioka
9 : 30	R005-13 D-Region ionospheric disturbances induced by fireballs and satellite reentries observed with OCTAVE VLF/LF transmitter signals * Hiroyo Ohya, Ryota Furuya, Fuminori Tsuchiya, Masa-yuki Yamamoto, Tatsuki Washimi, Hiroyuki Nakata, Takashi Watanabe, Miki Kobayashi	R006-15 Observational evidence of nonlinear growth of whistler-mode waves in foreshock structures obtained by the MMS spacecraft * Naritoshi Kitamura, Takanobu Amano, Yoshiharu Omura, Yoshizumi Miyoshi, Yuto Katoh, Hirotsugu Kojima, Sun-hee Lee, Masahiro Kitahara, Scott A. Boardsen, Rumi Nakamura, Daniel J. Gershman, Yoshifumi Saito, Shoichiro Yokota, Craig J. Pollock, Olivier Le Contel, Christopher T. Russell, Robert J. Strangeway, Per-arne Lindqvist, Robert E. Ergun, James L. Burch	R008-13 Instability analysis of lower hybrid and ion Bernstein waves driven by energetic ions * Tsubasa Kotani, Mieko Toida, Toseo Moritaka, Satoshi Taguchi
9 : 45	R005-14 The RIDE Rocket Campaign: Elucidating the Generation Processes of Mid-Latitude Sporadic E Layers * Akinori Saito, Takumi Abe, Ayako Matsuoka, Keigo Ishisaka, Yoshifumi Saito, Masahito Tagawa, Atsushi Kumamoto, Hidetaka Shirasawa, Hirotsugu Kojima, Satoshi Kurita, Naofumi Murata, Miyuki Matsuyama, Kumiko Yokota, Michi Nishioka, Satoshi Andoh, Susumu Saito, Toru Takahashi, Keisuke Hosokawa, Hiroyuki Nakata, Tatsuhiro Yokoyama, Huixin Liu, Masaru Kogure, Takanori Nishiyama, Mitsumu K. Ejiri, Takatoshi Sakazaki	R006-16 Characteristics of the low-frequency magnetic field variations coincided with whistler chorus observed by Arase * Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Yoshiya Kasahara, Mitsunori Ozaki, Shoya Matsuda, Yoshizumi Miyoshi, Tomoaki Hori, Yugo Tamamura, Iku Shinohara	R008-14 Computer Simulation of Dust Impact signals Detected by Electric Field Instruments Onboard Satellites * Tungjun Lin, Satoshi Kurita, Hirotsugu Kojima, Taito Tanikuchi, Jin Nakazono, Yohei Miyake, Hideyuki Usui

第 4 日 目

11月27日(木)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
10 : 00	R005-15 Estimation and Correction of Wake Effects on a Sounding Rocket Langmuir Probe * Yosuke Ueda, Akinori Saito, Takumi Abe	R006-17 ULF-Modulated Whistler Mode Wave and Electron Precipitation Observed by EISCAT and Arase * Kohki Tachi, Yuto Katoh, Atsushi Kumamoto, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Atsuki Shinbori, Mizuki Fukizawa, Yasunobu Ogawa, Keisuke Hosokawa, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto, Satoshi Kasahara, Shoichiro Yokota, Kunihiro Keika, Tomoaki Hori, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara	R008-15 Particle Simulations of Space Charge Effects Associated with Secondary Emission from Spacecraft Yuta Murai, * Yohei Miyake, Masanori Iwamoto
10 : 15	R005-16 Observation of Sporadic E Layers Using a Rocket-Borne Ion Drift Velocity Analyzer * Chiaki Kato, Takumi Abe, Akinori Saito, Hirotsugu Kojima, Satoshi Kurita	R006-18 Direct Evaluation of the Inhomogeneity Parameter as Evidence of Nonlinearity in Chorus Wave-Induced Electron Acceleration * Seiya Tokuda, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Satoshi Kurita, Takahiro Zushi, Hirotsugu Kojima, Satoshi Kasahara, Shoichiro Yokota, Tomoaki Hori, Kunihiro Keika, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara	R008-16 Plasma two-fluid simulation using Physics-Informed Neural Networks (PINNs) * Ryo Kono, Shuichi Matsukiyo, Shogo Isayama
10 : 30	総合討論	R006-19 Lightning-Generated Whistler wave coupling and its effects on electrons in the inner magnetosphere using ERG and WLLN * Ryosuke Ui, Claudia Martinez-calderon, Ivana Kolmašová, Ondřej Santolik, Kazuo Shiokawa, Iku Shinohara, Yoshizumi Miyoshi, Satoshi Kasahara, Kunihiro Keika, Shoichiro Yokota, Tomoaki Hori, Takefumi Mitani, Takeshi Takashima, Shiang-yu Wang, Yoichi Kazama, Chaewoo Jun, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Atsuki Shinbori, Jacob Bortnik, Craig J Rodger	総合討論
	(10:45 - 11:05 休憩)	(10:45 - 11:05 休憩)	(10:45 - 11:05 休憩)

第 4 日 目

11月27日(木)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
	座長： 新堀 淳樹（名大宇地研） 安藤 慧 （NICT）	座長： 頭師 孝拓（奈良高専） 山川 智嗣（名古屋大学）	座長： 松本 洋介（千葉大） 梅田 隆行（北大基盤センター）
11 : 05	R005-17 Three-dimensional metal ion flow in the polar ionosphere simulated by a new ionospheric model * Satoshi Andoh, Hiroyuki Shinagawa, Hidekatsu Jin, Chihiro Tao, Keisuke Hosokawa	R006-20 Development of a CubeSat Electron Measurement Technology for Observing Ducted Wave-Particle Interactions in Low Earth Orbit * Toshinori Tanaka, Satoshi Kasahara, Takefumi Mitani, Yoshizumi Miyoshi, Yuto Katoh	R008-17 Loading of relativistic Maxwellian-type distribution revisited * Takayuki Umeda
11 : 20	R005-18 Modulation of the mid-latitude ionospheric Sporadic E layer by the polar vortex * Tomoki Maeda, Huixin Liu, Yosuke Yamazaki, Lihui Qiu	R006-21 Development of a Time-Series-Based Software for Sferic Noise Removal in Magnetospheric ELF/VLF Wave Analysis * Yuto Ito, Kazuo Shiokawa, Claudia Martinez-calderon, Jyrki Manninen, Martin Connors	R008-18 Secondary conservative finite difference scheme for compressible magnetohydrodynamics in orthogonal curvilinear coordinates * Haruhisa Iijima
11 : 35	R005-19 Multiple Case Studies of dynamical characteristics of sporadic E using maritime radio waves from automatic identification system * Yu Sumimoto, Keisuke Hosokawa, Naoki Shuku, Taiyo Sakano	R006-22 Hardness of precipitating particle energy spectrum revealed by spectral riometer: May 2024 storm event * Tomotaka Tanaka, Yoshimasa Tanaka, Yasunobu Ogawa, Akira Kadokura, Kiyoka Murase, Keisuke Hosokawa, Shin-ichiro Oyama, Antti Kero	R008-19 Beyond Surfaces: Twist and Curvature in the Skeleton Geometry of Magnetic and Fluid Fields via the Extended Frenet Frame * Akimasa Yoshikawa
11 : 50	R005-20 High spatio-temporal resolution analysis of Sporadic E layer using ultra dense GNSS receiver network * Shunta Tano, Keisuke Hosokawa, Yuichi Otsuka, Susumu Saito	R006-23 Statistics and propagation of unusual ‘high frequency’ VLF bursty-patches from multi-point observations * Claudia Martinez-calderon, Jyrki Manninen, Kazuo Shiokawa, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Iku Shinohara, Yoshizumi Miyoshi, Atsuki Shinbori, Miroslav Hanzelka, David Pisa	R008-20 On Vlasov-Schrodinger equations correspondence * Yosuke Matsumoto, Gotaro Kawakami, Kohji Yoshikawa, Takashi Minoshima, Naoki Yoshida
12 : 05	R005-21 Fine scale structures of the Es layer revealed by an ultra-dense GNSS network * Susumu Saito, Keisuke Hosokawa, Takayuki Yoshihara	R006-24 Global CNA response to a magnetic storm: a simulation study * Yoshizumi Miyoshi, Shreedev Pr, Vania Jordanova, Linhui Tang, Shinji Saito, Kazuo Shiokawa, Shin-ichiro Oyama, Keisuke Hosokawa	R008-21 A quantum algorithm for nonlinear electromagnetic fluid dynamics using Koopman-von Neumann Linearization * Hayato Higuchi, Yuki Ito, Kazuki Sakamoto, Keisuke Fujii, Juan Pedersen, Akimasa Yoshikawa

第 4 日 目

11月27日(木)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
12 : 20	総合討論 (12:35 - 13:45 昼休み) 座長： 斎藤 享（電子航法研） 傳 維正（名大 宇地研）	R006-25 ULF wave radial diffusion of radiation belt electrons during the May 2024 super geomagnetic storm * Kazuhiro Yamamoto, Yoshizumi Miyoshi, Yuki Obana, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Yasumasa Kasaba, Yoshiya Kasahara, Tomoaki Hori, Atsuki Shinbori, Atsushi Kumamoto, Fuminori Tsuchiya, Iku Shinohara (12:35 - 13:45 昼休み) 座長： 滑川 拓（情報通信研究機構） 今城 峻（京大地磁気センター）	総合討論 (12:35 終了)
13 : 45	R005-22 MSTIDs Driven by Secondary Gravity Waves Associated with the Heavy Rainfall in August 2021 over Kyushu, Japan * Masaru Kogure, In-sun Song, Byeong-gwon Song, Huixin Liu, Michi Nishioka, Septi Perwitasari, Hosik Kam, Hong Hong	R006-26 Influence of the Weak Intrinsic Magnetic Field on the Development of Magnetic Storms Based on Global Drift-Kinetic Simulations * Kazuhiro Osada, Kanako Seki, Tomotsugu Yamakawa, Kazuhiro Yamamoto, Yusuke Ebihara, Takano Amano, Kunihiro Keika	
14 : 00	R005-23 Midnight Medium-Scale Traveling Ionospheric Disturbances in Japan: Preliminary Case Study Results * Weizheng Fu, Yuichi Otsuka	R006-27 Spacecraft charging of the Arase (ERG) satellite * Yumika Sue, Satoshi Kasahara, Kazushi Asamura, Ayako Matsuoka, Rino Takahara, Yoshizumi Miyoshi	
14 : 15	R005-24 Statistical study of solar activity dependence of medium-scale traveling ionospheric disturbance : GPS observation in America * Tsubasa Naito, Yuichi Otsuka, Atsuki Shinbori, Michi Nishioka, Septi Perwitasari	R006-28 Long-term Variations of He++ Ions in the Inner Magnetosphere: Observations by Arase LEP-i * Yui Nishida, Yoshizumi Miyoshi, Kazushi Asamura, Lynn Kistler, Iku Shinohara	
14 : 30	R005-25 Effect of electric field observed by S-520-32 sounding rocket on MSTID * Miyuki Matsuyama, Keigo Ishisaka, Yuki Ashihara, Susumu Saito, Mamoru Yamamoto, Hidetaka Shirasawa, Takumi Abe	R006-29 Geocoronal atomic hydrogen number density: Estimation using energetic ions observed by the Arase satellite * Akimasa Ieda, Naritoshi Kitamura, Yoshizumi Miyoshi, Tomoaki Hori, Kazuhiro Yamamoto, Chaewoo Jun, Shoichiro Yokota, Satoshi Kasahara, Kunihiro Keika, Iku Shinohara	

第 4 日 目

11月27日(木)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
14 : 45	R005-26 The Meridional Currents of the EEJ and Their Relation to the Main Eastward Current Analyzed Using Principal Component Analysis * Xzann Garry Vincent Miranda Topacio, Akimasa Yoshikawa	R006-30 Slow recovery of the plasmaspheric electron density during the May and October 2024 severe geomagnetic storms * Atsuki Shinbori, Naritoshi Kitamura, Kazuhiro Yamamoto, Atsushi Kumamoto, Fuminori Tsuchiya, Shoya Matsuda, Yoshiya Kasahara, Mariko Teramoto, Ayako Matsuoka, Yuichi Otsuka, Takuya Sori, Michi Nishioka, Septi Perwitasari, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara	
15 : 00	R005-27 Electric fields in and around auroral arcs at higher F region using BROR experiment data * Tomoe Taki, Tima Sergienko, Urban Brändström	R006-31 Development of ion energy-mass spectrometer “ULTIMA” for suprathermal ion observations. * Kohei Takeuchi, Kazushi Asamura, Shoichiro Yokota, Yoshizumi Miyoshi	
15 : 15	R005-28 Mesoscale plasma flow in the near-noon high-latitude ionosphere: Scale-dependent features * Takahiro Kinoshita, Satoshi Taguchi, Haruto Koike	R006-32 Ionospheric Joule heating and neutral density variations at low Earth orbits during geomagnetic storms * Heikki Vanhamaki, Marcus Pedersen, Anita Aikio, Lei Cai, Milla Myllymaa, Colin Waters, Jesper Gjerloev, Bharat Kunduri	
15 : 30	総合討論 (15:45 終了)	R006-33 Status of GEO-X mission * Yuichiro Ezoe, Ryu Funase, Yoshizumi Miyoshi, Hiroshi Nakajima, Ikuyuki Mitsuishi, Ryota Fuse, Yosuke Kawabata, Hiroyuki Koizumi, Shintaro Nakajima, Kumi Ishikawa, Masaki Numazawa, Yuki Satoh, Koichi Hagino, Yosuke Matsumoto, Keisuke Hosokawa, Daiki Ishi, Munetaka Ueno, Atsushi Yamazaki, Hiroshi Hasegawa, Makoto Mita, Takefumi Mitani, Masaki Fujimoto, Yasuhiro Kawakatsu, Takahiro Iwata, Tomokage Yoneyama, Kazuhisa Mitsuda, Junko Hiraga, Satoshi Kasahara, Hironori Sahara, Yoshiaki Kanamori, Kohei Morishita (15:45 終了)	

ポスター1
11月25日(火) 第2日目
(9:15-12:35)

[R004]

地磁気・古地磁気・岩石磁気 Geomagnetism/Paleomagnetism/ Rock Magnetism

- R004-P01 Lunar crustal magnetic anomalies mapping using LP, Kaguya, and KPLO high-altitude data
* Minjae Lee, Shunichi Kamata
- R004-P02 Preliminary results of some budget analyses of a dynamo model in terms of equatorial symmetry
* Futoshi Takahashi
- R004-P03 Time Evolution of Control Parameters in Numerical Dynamo Simulations Over the Past 4.0 Ga
* Ryota Imaki, Hisayoshi Shimizu
- R004-P04 Regionality of the Stratified Layer at the Core Surface in the Equatorial Region Inferred from the CHAOS-8 Geomagnetic Model
* Tomoya Kawaguchi, Hisayoshi Shimizu
- R004-P05 Archeointensity study of roof tiles excavated at the Koshobu Site, Dazaifu City
* Chie Kato, Zhihao Wang, Chisato Anai, Masao Ohno, Yoshinori Tajiri
- R004-P06 A preliminary report of weak paleointensity during the Cretaceous Normal Superchron estimated from the Kerguelen plateau basalts
* Yutaka Yoshimura, Masakazu Fujii, Chie Kato, Osamu Ishizuka, Kenji Shimizu, Ryosuke Oyanagi

- R004-P07 Analysis of the location and geomagnetic declination in early 19th century's survey by Tadataka Inoh
* Motohiro Tsujimoto
- R004-P08 Update of Japan Archaeomagnetic Database
* Tadahiro Hatakeyama, Kokona Tanaka, Hidetoshi Shibuya
- R004-P09 Development of an evaluation method for environmental pollution in street trees using magnetic measurements
* Riku Sakuma, Masahiko Sato

[R006]

磁気圏 Magnetosphere

- R006-P01 Solar Activity Dependence of Micro Type III Solar Radio Bursts Based on Long-term GEOTAIL Observations
* Takemaru Kato, Satoshi Kurita, Hirotsugu Kojima
- R006-P02 Signatures of energetic electron precipitation observed with OCTAVE VLF/LF transmitter signals
* Kakeru Yoshii, Hiroyo Ohya, Fuminori Tsuchiya, Conner Martin, Nozomu Nishitani
- R006-P03 The correlation between the luminosity variation of pulsating aurora and energy spectra of precipitating electrons
* Masaya Hirano, Keisuke Hosokawa, Yoshizumi Miyoshi, Kazushi Asamura, Marc Lessard, Matthew Mcharg, Allison Jaynes, Mykhaylo Shumko, Vincent Ledvina, Don Hampton, Takeshi Sakanoi, Takefumi Mitani, Taku Namekawa, Masahito Nose, Yasunobu Ogawa, Alexa Halford

- R006-P04 Statistical study of pulsating auroral types and high-latitude chorus waves based on Arase-ground conjugate observations
* Yuri Ito, Yasunobu Ogawa, Yoshimasa Tanaka, Akira Kadokura, Mizuki Fukizawa, Yoshizumi Miyoshi, Atsuki Shinbori, Keisuke Hosokawa, Tomoaki Hori, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Fuminori Tsuchiya, Atsushi Kumamoto, Ayako Matsuoka, Iku Shinohara
- R006-P05 Categorization of the Factors of Loss Cone Electron Input in Higher-Latitude Regions of the Inner Magnetosphere
* Rino Takahara, Iku Shinohara, Satoshi Kasahara, Kazushi Asamura, Shoichiro Yokota, Kunihiro Keika, Yoichi Kazama, Shiang-yu Wang, Sunny Wing-yee Tam, Tzu-fang Chang, Bo-jhou Wang, Chaewoo Jun, Tomoaki Hori, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Atsushi Kumamoto, Atsuki Shinbori, Fuminori Tsuchiya, Yoshizumi Miyoshi
- R006-P06 Short-term and long-term energetic electron precipitation induced by whistler-mode chorus waves
* Yikai Hsieh, Yoshiharu Omura
- R006-P07 Empirical wave power models of whistler-mode chorus waves deduced from the Arase observation
* Satoshi Kurita, Yoshizumi Miyoshi, Yuto Katoh, Shinji Saito, Shoya Matsuda, Yoshiya Kasahara, Ayako Matsuoka, Tomoaki Hori, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto, Atsuki Shinbori, Iku Shinohara
- R006-P08 Characteristics of whistler-mode waves that generate electrostatic emissions observed by the Arase satellite
* Towa Yoshida, Satoshi Kurita, Hirotsugu Kojima, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Ayako Matsuoka, Yoshizumi Miyoshi, Tomoaki Hori, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto, Iku Shinohara

ポスター発表一覧表 (セッション番号順)

会場：百年記念館ホワイエ

- R006-P09 Statistical analysis of the isolated electrostatic potentials in the inner magnetosphere
 * Yui Fujita, Takahiro Zushi, Satoshi Kurita, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Tomoaki Hori, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara
- R006-P10 Statistical analysis of low-frequency components of Broadband Electrostatic Noise observed by ARASE
 * Tsuyoshi Kanetake, Taketoshi Miyake, Yoshiya Kasahara
- R006-P11 Effect of the Background Magnetic-Field Geometry on the Dispersion Relation in Cold-Plasma Using a Local Field-Aligned Frame
 * Ko Isono, Akimasa Yoshikawa, Yuto Katoh, Atsushi Kumamoto
- R006-P12 A Case Study of EMIC Waves Observed During an Injection Event in Jupiter's Magnetosphere Based on Juno's Observation
 * Tomofumi Noguchi, Yuto Katoh, Atsushi Kumamoto
- R006-P13 Statistical properties of the distribution of EMIC waves in the magnetosphere observed by the Cluster satellite in 2011-2022
 * Miyashita Shunuske, Katoh Yuto, Santolik Ondřej, Grison Benjamin, Kumamoto Atsushi
- R006-P14 EMIC Waves in the Magnetosphere: Attempts to Derive Ion Composition Using Polarization Analysis by the Arase Satellite
 * Riku Kikuchi, Yasumasa Kasaba, Shoya Matsuda, Yoshiya Kasahara, Ayako Matsuoka, Fuminori Tsuchiya, Shinnosuke Satoh, Koki Tachi
- R006-P15 Study on the Propagation Characteristics of the EMIC Waves Observed at Multiple Points using ray tracing
 * Yui Umezawa, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Mamoru Ota

- R006-P16 Statistical Study of High-Frequency EMIC Waves with the Arase Satellite
 * Takahito Shikimori, Iku Shinohara, Kazushi Asamura, Yoshizumi Miyoshi, Shoichiro Yokota, Satoshi Kasahara, Kunihiro Keika, Tomoaki Hori, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto, Atsuki Shinori, Atsushi Kumamoto, Fuminori Tsuchiya, Chaewoo Jun
- R006-P17 Discovery of hidden EMIC wave branches: Evidence of molecular and metallic ion contributions in the inner magnetosphere
 * Chaewoo Jun, Yoshizumi Miyoshi, Tomoaki Hori, Kazuhiro Yamamoto, Khan-hyuk Kim, Jun-hyun Lee, Jacob Bortnik, Iku Shinohara, Kazushi Asamura, Mariko Teramoto, Satoshi Kasahara, Kunihiro Keika, Shoichiro Yokota, Shoya Matsuda, Yasumasa Kasaba, Yoshiya Kasahara, Ayako Matsuoka
- R006-P18 Modulation of Lower Hybrid and ECH Waves by ULF Waves in the Earth's Magnetosphere
 * Li Li, Yoshiharu Omura
- R006-P19 Analysis of characteristic low-frequency waves observed by the scientific satellite Arase
 * Soga Shishino, Taketoshi Miyake, Yoshiya Kasahara
- R006-P20 Analysis of Narrowband Low-Frequency Waveforms Observed by the Scientific Satellite ARASE
 * Masaya Miura, Taketoshi Miyake, Yoshiya Kasahara
- R006-P21 Power Line Harmonic Radiation Observed by the PWING Network
 * Kristyna Drastichova, Frantisek Nemec, Kazuo Shiokawa, Claudia Martinez-calderon, Jyrki Manninen, Tero Raita
- R006-P22 Two-dimensional distribution of the plasma density obtained by applying the DTFT to the FLR data from SuperDARN radars
 * Hideaki Kawano, Akira Sessai Yukimatu, Nozomu Nishitani, Yoshimasa Tanaka, Tomoaki Hori

- R006-P23 Quarter-Wave Resonances: Coordinated Observations by SuperDARN, Magnetometers, and Arase
 * Yuki Obana, Nozomu Nishitani, Keisuke Hosokawa, Tomoaki Hori, Mariko Teramoto, Atsuki Shinori, Akira Sessai Yukimatu, Colin L. Waters, Murray D. Sciffer, Robert L. Lysak, Pavlo V. Ponomarenko, Glenn Hussey, Yoshizumi Miyoshi, Ayako Matsuoka, Atsushi Kumamoto, Fuminori Tsuchiya, Shoya Matsuda, Yoshiya Kasahara, Iku Shinohara
- R006-P24 Recurrent Tailward Propagation of Auroral Arcs Driven by Kelvin-Helmholtz Instabilities
 * Hyangpyo Kim, Kazuo Shiokawa
- R006-P25 Non-uniform excitation of storm-time Pc5 ULF waves in the inner magnetosphere: Van Allen Probes and Arase observations
 * Tomotsugu Yamakawa, Kazue Takahashi, Kanako Seki, Yoshizumi Miyoshi, Kazuhiro Yamamoto, Matina Gkioulidou, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Kazushi Asamura, Fuminori Tsuchiya, Atsushi Kumamoto, Yoshiya Kasahara, Atsuki Shinori, Iku Shinohara
- R006-P26 Observational study of kinetic Alfvén waves in the mid-latitude magnetosphere using the Arase satellite
 * Koseki Saito, Anton V. Artemyev, Yuto Katoh, Yasumasa Kasaba, Atsushi Kumamoto, Yoshiya Kasahara, Tomoaki Hori, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto, Kazushi Asamura, Shiang-yu Wang, Yoichi Kazama, Sunny Wing-yee Tam, Chae-woo Jun, Iku Shinohara, Yoshizumi Miyoshi
- R006-P27 Gyrokinetic and reduced simulations of the feedback M-I coupling in dipole configuration
 * Tomohiko Watanabe, Tsuyoshi Sakaki, Keiji Fujita
- R006-P28 The visualization experiment for extracting eigenvalue of MHD system velocity Jacobian from large-scale M-I coupling simulation
 * Shinnosuke Saito, Akimasa Yoshikawa, Takashi Tanaka

ポスター発表一覧表 (セッション番号順)

会場：百年記念館ホワイエ

R006-P29 Analysis of the Spatial Distribution Characteristics of Pi2 Geomagnetic Pulsations on the Dusk Side

* Yuka Higashine, Akimasa Yoshikawa, Teiji Uozumi

R006-P30 Estimation of outflow ratios of various ions during magnetic storms based on Arase satellite observations

* Hyota Kaieda, Shoichiro Yokota, Kentaro Terada, Satoshi Kasahara, Kunihiro Keika, Tomoaki Hori, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara

R006-P31 Gradual and sudden energization of outflowing oxygen ions near the high-latitude magnetopause

* Haruto Koike, Masatoshi Yamauchi, Satoshi Taguchi, Hans Nilsson, Iannis Dandouras

R006-P32 First evidence of field line curvature scattering effect on heavy ion species: property of isotropic distribution boundaries

* Shun Imajo, Yoshizumi Miyoshi, Satoshi Kasahara, Shoichiro Yokota, Ayako Matsuoka, Kunihiro Keika, Tomoaki Hori, Iku Shinohara, Kazuo Shiokawa, Kazuhiro Yamamoto, Mariko Teramoto

R006-P33 Estimation of spurious sunward electric field observed by double probes onboard Arase and Geotail

* Tomoko Nakagawa, Tsubasa Konno, Tomoaki Hori, Yasumasa Kasaba, Shoya Matsuda, Yoshiya Kasahara, Fuminori Tsuchiya, Atsushi Kumamoto, Atsuki Shinbori, Ayako Matsuoka, Iku Shinohara, Yoshifumi Saito, Yoshizumi Miyoshi

R006-P34 A Machine Learning Approach for Improving UHR Frequency Determination in the Inner Magnetosphere

* Takumi Sado, Shoya Matsuda, Yoshiya Kasahara

R006-P35 Recent updates of Level-2/-3 datasets of the LEPE instrument on the Arase satellite

* Yoichi Kazama, Chaewoo Jun, Tomoaki Hori, Yoshizumi Miyoshi, Kazushi Asamura, Satoshi Kasahara, Shoichiro Yokota, Bo-jhou Wang, Shiang-yu Wang, Sunny Tam, Tzu-fang Chang, Kunihiro Keika, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto, Iku Shinohara

R006-P36 Spatio-temporal evolution of electron phase space density in the radiation belt-plasma sheet transition region during substorm

* Yuki Ota, Yusuke Ebihara, Takashi Tanaka

R006-P37 MeV electrons observed at near-Earth plasma sheet boundary

* Iku Shinohara, Takefumi Mitani, Nana Higashio, Satoshi Kasahara, Shoichiro Yokota, Kunihiro Keika, Kazuhiro Yamamoto, Tomoaki Hori, Kazushi Asamura, Yoshizumi Miyoshi, Yoichi Kazama, Shiang-yu Wang, Sunny Tam, Chaewoo Jun, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto

R006-P38 Characteristics of high-energy electron precipitation before and after substorm using riometer

* Ayaka Ooyama, Keisuke Hosokawa, Shin-ichiro Oyama, Yoshimasa Tanaka

R006-P39 Understanding the Magnetosphere-ionosphere coupling during two low latitude auroras on 28 February 2023 and 24 April 2023

* Manu Varghese, Kazuo Shiokawa, Qing-he Zhang, Balan N, Jijin K Raj, Shreedevi P R

R006-P40 Observation of Fine Structures in Diffuse Aurora with a High-Spatial-Resolution Camera: Manifestation of Secondary Instabilities

* Yusuke Sano, Keisuke Hosokawa, Wandal Winn, Shin-ichiro Oyama, Yoshizumi Miyoshi, Yasunobu Ogawa, Yoshimasa Tanaka

R006-P41 Fine-scale visualization of initial development of auroral beads :Multi-event analysis using a high-spatial-resolution camera

* Sana Akimoto, Keisuke Hosokawa, Shin-ichiro Oyama, Yasunobu Ogawa, Yoshizumi Miyoshi, Yoshimasa Tanaka

R006-P42 Estimation of the horizontal distribution of the precipitating electron energy spectrum using EISCAT_3D radar

* Mizuki Fukizawa, Yasunobu Ogawa, Yoshimasa Tanaka

R006-P43 Long-term Statistical Analysis of Auroral Kilometric Radiation Observed by Geotail: Applied Automated Detection Technique

* Haruto Yamanaka, Yasumasa Kasaba, Satoshi Kurita, Hirotugu Kojima, Fuminori Tsuchiya, Hiroaki Misawa

R006-P44 Retitive occurrence of Polar Rain Aurora Across the Solar Cycle

* Mutsuki Nishizawa, Keisuke Hosokawa, Larry Paxton, Yongliang Zhang

R006-P45 Occurrence Characteristics of Quasi-Co-rotating Auroras Observed at Syowa Station, Antarctica, during 2023–2024

* Yukino Sato, Yoshimasa Tanaka, Ryuho Kataoka, Takanori Nishiyama, Yasunobu Ogawa

R006-P46 Spatiotemporal Evolution of the Storm-Time Ring Current Inferred from Low-Latitude Geomagnetic Observations

* Kunihiro Keika, Tomoya Kawaguchi, Shun Imajo

R006-P47 Observation of the Earth's Plasmasphere in Extreme Ultraviolet by PHOENIX onboard EQUULEUS

* Masaki Kuwabara, Kazuo Yoshioka, Go Murakami, Ichiro Yoshikawa

ポスター発表一覧表 (セッション番号順)

会場：百年記念館ホワイエ

R006-P48 Statistical Analysis of Substorm-Associated Deformations of the Equatorial Tail Magnetopause Observed by Satellites
* Ryota Nakamura, Hideaki Kawano

R006-P49 Observation of the west-shift of the South Atlantic Anomaly with using geomagnetic data from MGF on board the Arase Satellite
* Taiki Hisada, Mariko Teramoto, Ayako Matsuoka, Kazuhiro Yamamoto, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara, Kentaro Kitamura

R006-P50 Clustering Analysis and Extraction of Representative Field-Aligned Current Patterns Using AMPERE Data
* Dai Ikemoto, Akimasa Yoshikawa

R006-P51 Estimation of Auroral Currents in Ultracool Dwarfs Based on 3D Global Magnetohydrodynamic Simulations
* Ryota Hara, Tomoki Kimura, Keiichiro Fukazawa, Satyagraha Asa, Yuka Fujii, Chihiro Tao

R006-P52 Large-scale FAC pattern and SW-M-I coupling 2
* Aoi Nakamizo, Akimasa Yoshikawa, Hiroyuki Nakata, Keiichiro Fukazawa, Takashi Tanaka

R006-P53 Hybrid particle simulation for ions dynamics in Mercury's inner magnetosphere
* Toramaru Takamura, Hideyuki Usui, Yohei Miyake, Masaharu Matsumoto

R006-P54 Interaction between topology and plasma dynamics of the solar wind-magnetosphere system in the northward IMF conditions (2)
* Shigeru Fujita, Masakazu Watanabe, Takashi Tanaka, Dongsheng Cai

R006-P55 Interlinkage of closed and interplanetary magnetic flux in the magnetotail during northward interplanetary magnetic field periods
* Masakazu Watanabe, Takashi Tanaka, Dongsheng Cai, Shigeru Fujita

R006-P56 Design and development of visible and far ultraviolet auroral imagers for the future satellite mission FACTORS
* Takeshi Sakanoi, Ichiro Yoshikawa, Satoshi Ishii, Mizuki Fukizawa, Takanori Nishiyama, Atsushi Yamazaki, Kazushi Asamura, Yoshizumi Miyoshi

R006-P57 Evaluation of input-output frequency characteristics for digital-type fluxgate magnetometer
* Hayato Tanaka, Ayako Matsuoka

R006-P58 Development of an electric field measurement system in space plasmas using a preamplifier based on a floating power supply
* Keita Tanaka, Satoshi Kurita, Hirotsugu Kojima

R006-P59 Development of a Compact and Low-Power Plasma Wave Receiver Compatible with CubeSat Platforms
* Takahiro Zushi, Kosuke Yamamoto, Hirotsugu Kojima

R006-P60 Development of Radiation Monitor for Space weather measuring Electrons (RMS-e) for Himawari-10
* Taku Namekawa, Kaori Sakaguchi, Kenichi Otsuji, Inchun Park, Shinji Saito, Takefumi Mitani

R006-P61 Development of a General-Purpose High-Speed Analog Front-End ASIC for Plasma Particle Instruments on board Satellites
* Shimon Takahashi, Kazushi Asamura, Takahiro Zushi, Satoshi Kurita, Shoichiro Yokota, Hirotsugu Kojima

R006-P62 Concept design of high-sensitive high-energy electron analyzer using position sensitive semiconductor detectors
* Takefumi Mitani

ポスター2
11月25日(火) 第2日目
(13:45-15:45)

[R005]

大気圏・電離圏

Atmosphere/Ionosphere

R005-P01 Observation of spatio-temporal variations in Mercury's sodium exosphere using the Haleakala T60 telescope
* Naoko Takatori, Masato Kagitani, Yasumasa Kasaba

R005-P02 Operations of single-board computer-based all-sky digital camera systems at multiple sites
* Takuo Tsuda, Takeshi Aoki, Keisuke Hosokawa, Yasuhide Hobara, Takanori Nishiyama, Yasunobu Ogawa, Yoshimasa Tanaka, Tetsuya Kawabata, Satonori Nozawa, Shin-ichiro Oyama, Kiyoka Murase

R005-P03 A ground-based observation of spectra of noctilucent clouds in Kiruna
* Ayune Masuda, Akiho Endo, Peter Dalin, Takuo Tsuda, Hidehiko Suzuki

R005-P04 A strong local-time dependency on the occurrence of noctilucent clouds over Hokkaido, Japan.
* Akiho Endo, Yoshihiro Tomikawa, Peter Dalin, Kazuyo Sakanoi, Katsushi Iwamoto, Nozomu Nishitani, Takuo Tsuda, Yuriko Nakamura, Masahiro Omote, Hidehiko Suzuki

R005-P05 Measuring Mesospheric Winds Using Airglow Imaging of Atmospheric Gravity Waves
* Shin Suzuki, Kazuo Shiokawa, Mitsumu E Ejiri, Takuji Nakamura, Masaki Tsutsumi

ポスター発表一覧表 (セッション番号順)

会場：百年記念館ホワイエ

- R005-P06 Analysis of long-term and short-period variations in nighttime airglow based on 31-year ground-based airglow observation in Japan
* Yuto Hotta, Kazuo Shiokawa, Yuichi Otsuka, Mamoru Yamamoto
- R005-P07 Statistical study of atmospheric gravity waves using OI 557.7 nm airglow images over Tomohon, Indonesia
* Sefria Anggarani, Tri Wahyu Hadi, Septi Perwitasari, Kazuo Shiokawa
- R005-P08 Analyses of solar eclipse effects on mesospheric chemistry and dynamics—a long-term study
* Tianliang Yang, Tomoo Nagahama, Akira Mizuno, Tong Dang, Jiuhou Lei
- R005-P09 Investigation of energetic particle precipitation events on the polar mesopause region
* Satoshi Ishii, Hidehiko Suzuki, Mitsumu K. Ejiri, Yoshimasa Tanaka, Makoto Taguchi, Masaki Tsutsumi, Takanori Nishiyama
- R005-P10 Vertical structure of atmospheric waves from the mesosphere to the thermosphere observed by Na lidar and EISCAT radars at Tromsø
* Jinyi Hu, Takuo Tsuda, Masaru Kogure, Yasunobu Ogawa, Satonori Nozawa, Tetsuya Kawabata, Norihito Saito, Takuya Kawahara, Toru Takahashi
- R005-P11 Long-term variation of the back-ground wind field in the Antarctic mesosphere and lower thermosphere
* Masaki Tsutsumi
- R005-P12 Development of a near-infrared laser heterodyne spectrometer for metastable helium emission observation in the thermosphere
* Haruki Aida, Hiromu Nakagawa, Takanori Nishiyama, Takuo Tsuda, Norihito Saito, Isao Murata, Naoki Terada, Yasumasa Kasaba

- R005-P13 Statistical variability of orthohelium airglow brightness based on ground-based observations at the KHO, Longyearbyen
* Takanori Nishiyama, Masato Kagitani, Takuo Tsuda, Noora Partamies, Daniel Whiter, Yasunobu Ogawa, Fred Sigernes
- R005-P14 Dynamics of high-latitude energy conversion in the upper thermosphere studied with FPI and Dynasonde in Tromsø, Norway
* Shin-ichiro Oyama, Heikki Vanhamäki, Lei Cai
- R005-P15 The simplest ion–neutral collision frequency model
* Akimasa Ieda
- R005-P16 Analysis of mesospheric gravity waves observed in Tromsø, Norway, on January 30, 2014, using an airglow imager and a sodium lidar
* Eido Tsuchida, Kazuo Shiokawa, Satonori Nozawa, Shin-ichiro Oyama, Atsuki Shinbori, Norihito Saito, Takuya Kawahara, Takuo Tsuda, Tetsuya Kawabata
- R005-P17 Sodium lidar observations using a Faraday filter in the Arctic: initial results
* Takuya D. Kawahara, Norihito Saito, Satonori Nozawa, Takuo T. Tsuda, Tetsuya Kawabata, Toru Takahashi, Satoshi Wada
- R005-P18 Development of PANSY Radar Incoherent Scatter Echo Observation Technique at Syowa Station, Antarctica
* Yuki Takayama, Taishi Hashimoto, Kaoru Sato
- R005-P19 Current status and future prospects of the EISCAT_3D project
* Ogawa Yasunobu, Hiroshi Miyaoka, Satonori Nozawa, Taishi Hashimoto, Shin-ichiro Oyama, Koji Nishimura, Takuo Tsuda, Hitoshi Fujiwara, Masaki Tsutsumi, Yoshimasa Tanaka, Takanori Nishiyama, Mizuki Fukizawa, Keisuke Hosokawa, Yoshizumi Miyoshi, Takuji Nakamura, Ryoichi Fujii

- R005-P20 Development of Wideband Antennas for Simultaneous VLBI and Atmosphere Observation.
* Hideki Ujihara, Hideyuki Nosaka, Hiroshi Imai, Yoshinori Yonekura, Hiroaki Misawa, Ryuichi Ichikawa
- R005-P21 Current status of aurora and airglow observations in Europe and Africa using low-cost high-sensitivity all-sky imagers
* Kazuo Shiokawa, Yuka Yamamoto, Takumi Adachi, Yuichi Otsuka
- R005-P22 Analysis of Westward Traveling Surge Using the Aurora Tomography Method
* Tau Hoshino, Yoshimasa Tanaka, Yasunobu Ogawa, Takanori Nishiyama, Keisuke Hosokawa, Kauristie Kirsti, Kozlovsky Alexander, Raita Tero
- R005-P23 Ionospheric variations observed at Syowa Station, Antarctica during the October 2024 space weather event
* Chihiro Tao, Michi Nishioka, Naoko Takahashi, Takumi Kondo, Masato Nagahara, Satoshi Andoh, Takahiro Naoi, Takuya Tsugawa
- R005-P24 Study of mid-latitude ionospheric variations during geomagnetic storms using an ultra-dense GNSS receiver network
* Chikara Furukawa, Keisuke Hosokawa
- R005-P25 Geomagnetic Conjugation of Nighttime Medium-Scale Traveling Ionospheric Disturbances in Japan-Australia Based on GNSS Observation
* Kazui Watanabe, Yuichi Otsuka, Atsuki Shinbori, Takuya Sori, Veera Kumar Masuwaran, Michi Nishioka, Septi Perwitasari
- R005-P26 Investigating Pre-sunset equatorial electrojet contributing to PRE
* Akihiro Kato, Akimasa Yoshikawa, Akiko Fujimoto

ポスター発表一覧表 (セッション番号順)

会場：百年記念館ホワイエ

R005-P27 Analysis of the dependence of Inter Hemispheric Field Aligned Current on solar period and seasonal variation
* Yusuke Zushi, Kentaro Kitamura, Mariko Teramoto, Akiko Fujimoto

R005-P28 Analysis of TEMPEST-D CubeSat Millimeter-Wave Water Vapor Data over Summer Rainfall Regions in East Asia and Japan
* Yudai Matsumoto, Hiroyuki Maezawa

R005-P29 Strategy for greenhouse gas observation using high-performance micro-satellite
* Yukihiro Takahashi, Haruki Sugiyama

R005-P30 Development of an automatic detection method for analyzing EEJ characteristic with decreasing trends
* Hiromu Kikuchi, Akimasa Yoshikawa

R005-P31 Influence of CEJ Termination Time on the Suppression of Plasma Bubble Generation
* Sora Matsuoka, Akimasa Yoshikawa, Akihiro Kato

R005-P32 Characteristics of EPB occurrences over Indonesia during a geomagnetic storm in August 2024 ~Visiting Researcher Program in BRIN~
* Takuya Sori, Prayitno Abadi, Ihsan Naufal Muafiry, Michi Nishioka, Septi Perwitasari, Mamoru Yamamoto

R005-P33 Empirical Study of Vertical ExB Drift Velocity for Post-Sunset Equatorial Plasma Bubble Forecast
* Septi Perwitasari, Michi Nishioka

R005-P34 Automatic Ionogram Scaling in East and Southeast Asia Based on Machine Learning
* Peng Liu, Tatsuhiko Yokoyama, Mamoru Yamamoto

R005-P35 Proposal of a method for quantitative evaluation of spread F from ionogram images using machine learning
* Kentaro Haruna, Peng Liu, Tatsuhiko Yokoyama

R005-P36 Long-term Statistical Analysis of Shigaraki Ionosonde Observations Using Machine Learning Models
* Mitsuru Terauchi, Peng Liu, Tatsuhiko Yokoyama

R005-P37 Development and Evaluation of AI Models for Automatic Scaling of Ionospheric Parameters and letters from VIPIR Ionosonde Data
* Michi Nishioka, Chihiro Tao, Takuya Tsugawa

R005-P38 Horizontal structures and movements of sporadic E layers observed with ionosonde receiver network
* Yuki Kojima, Akinori Saito, Michi Nishioka, Hideo Maeno, Takumi Kondo, Satoshi Andoh

R005-P39 {b}Spatiotemporal structure of a sporadic Ca{sup}+{/sup} layer ~short-period height variation~{/b}
* Azusa Yamakawa, Mitsumu K. Ejiri, Takuji Nakamura, Takanori Nishiyama, Takuo T. Tsuda, Makoto Abo, Katsuhiko Tsuno, Takayo Ogawa, Satoshi Wada

R005-P40 Initial analysis of the electric field in the ionosphere at the onset of the Es layer observed by the S-310-46 sounding rocket
* Hotsuma Sakano, Miyuki Matsuyama, Keigo Ishisaka, Akinori Saito, Takumi Abe

R005-P41 Initial Results of a Neutral Mass Spectrometer for Ionospheric Observation under the RIDE Campaign
* Masahiro Yoneda, Akinori Saito, Yoshifumi Saito, Oya Kawashima, Satoshi Kasahara, Shoichiro Yokota

R005-P42 Number density measurement of electrons by impedance probe (NEI) for S-310-46 sounding rocket, OHISAMA and IMPACT/PCUBE missions
* Atsushi Kumamoto, Takumi Abe, Akinori Saito, Koki Tachi, Koji Tanaka, Hitomi Inada, Yuto Katoh, Shoya Matsuda

R005-P43 On the result of neutral atmospheric pressure measurement by ion gauge in the lower thermosphere during RIDE campaign
* Takumi Abe, Gakuto Moriwaki, Tomohisa Oyanagi, Kumiko Yokota, Masahito Tagawa, Akinori Saito

R005-P44 Projected Influence of increasing CO₂ levels on Sporadic E Formation Based on GAIA Simulations
* Farhan Naufal Rifqi, Huixin Liu, Lihui Qiu, Chihiro Tao, Hiroyuki Shinagawa

R005-P45 Analysis of Sporadic E Layers Using FMCW Ranging and HFD Doppler Observations
* Shota Sako, Hiroyuki Nakata, Noriko Namiki, Kenro Nozaki, Keisuke Hosokawa, Hiroyo Ohya

R005-P46 Extraction and Analysis of Diurnal Variations in HF Doppler Observations Using PCA
* Misato Kobayashi, Hiroyuki Nakata, Hiroyo Ohya, Keisuke Hosokawa, Shinya Nakano

R005-P47 Analysis of Ionospheric Disturbances Following the 2025 Offshore Kamchatka Peninsula Earthquake Observed by HF Doppler Sounding
* Hiroyuki Nakata, Yuichi Otsuka, Keisuke Hosokawa, Susumu Saito

R005-P48 GNSS Observations of Traveling Ionospheric Disturbances Following the 2025 Offshore Kamchatka Peninsula Earthquake
* Yuichi Otsuka, Shion Ishida, Weizheng Fu, Atsuki Shinbori

[R008]

宇宙プラズマ科学 Space Plasma Science

R008-P01 High-power laser experiment of nonstationary collisionless shock
* Kana Takahashi, Shuichi Matsukiyo, Shogo Isayama, Yuma Sato, Taichi Morita, Ryo Yamazaki, Shuta Tanaka, Taichi Takezaki, Kentaro Tomita, Kentaro Sakai, Yasuhiro Kuramitsu, Takayoshi Sano, Youichi Sakawa

- R008-P02 Statistical analysis of harmonic upper hybrid and Langmuir waves observed by the MMS spacecraft
* Tsubasa Kotani, Fumiya Tanji, Haruto Koike
- R008-P03 Parametric instabilities of a relativistic Alfvén wave in strong magnetic fields
* Kanta Nakahara, Shuichi Matsukiyo, Shogo Isayama
- R008-P04 Plasma instabilities in a bounded system
* Yumeng Fan, Shuichi Matsukiyo
- R008-P05 Particle Simulation of Electrostatic Plasma Environment in Permanently Shadowed Regions of the Moon with Localized Magnetic Fields
* Arata Tsuchida, Jin Nakazono, Yohei Miyake
- R008-P06 Numerical Simulations of Potential and Electric Field Measurements near the Lunar Surface
* Taito Taniguchi, Satoshi Kurita, Jin Nakazono, Yohei Miyake, Hideyuki Usui, Hirotsugu Kojima
- R008-P07 Linear properties of machine-learning-based closure models for collisionless plasmas
* Mei Kanda, Takanobu Amano
- R008-P08 Suppression of Numerical Errors in the Charge Conservation Law for Finite-Difference Time-Domain Method with Higher-Order Accuracy
* Harune Sekido, Takayuki Umeda
- R008-P09 Time series analysis of electron motion based on the guiding center approximation
* Fumiko Otsuka, Shuichi Matsukiyo, Tohru Hada
- R008-P10 Reduction of phase velocity errors in higher-order Finite-Difference Time-Domain methods
* Xinyu Ge, Takayuki Umeda, Harune Sekido

ポスター3
11月26日(水) 第3日目
(14:50-18:25)

[R003]
地球・惑星内部電磁気学
(電気伝導度、地殻活動電磁気学)
Solid Earth Electromagnetism

- R003-P01 Calibration of the LEMI long-period MT instruments
* Makoto Uyeshima, Masahiro Ichiki, Maki Hata, Toshiki Kaida, Yoshiya Usui, Akira Watanabe, Yasuo Ogawa, Norihiro Kitaoka
- R003-P02 Magnetotelluric Probability Tomography Based on the Correlation between Impedance Perturbations and the Fréchet Operators
* Yu Liu, Peng Yu, Luolei Zhang, Chongjin Zhao, Zuwei Huang
- R003-P03 Reconciling Cartesian and Spherical Coordinate Approaches in Magnetotelluric Modeling: Source Conditions and Impedance Formulation
Chongjin Zhao, * Luolei Zhang, Peng Yu, Zuwei Huang, Hisashi Utada
- R003-P04 Comparison of 1D and 2D Inversion Results of Magnetotelluric Data Acquired at Sakurajima Volcano
* Cinantya Nirmala Dewi, Ryokei Yoshimura, Maki Hata, Rintaro Miyamachi, Shintaro Komatsu, Ken'ichi Yamazaki, Tadaomi Sonoda, Takenaka Yuusuke

- R003-P05 Analysis of the Network-MT and conventional MT data measured in the southern part of Kii Peninsula, Southwestern Japan
* Akira Watanabe, Makoto Uyeshima, Yasuo Ogawa, Masahiro Ichiki, Satoru Yamaguchi, Yoshiya Usui, Hideki Murakami, Tsutomu Ogawa, Naoto Oshiman, Ryokei Yoshimura, Koki Aizawa, Ichiro Shiozaki, Takafumi Kasaya
- R003-P06 Forward Modeling Study of Controlled-Source Electromagnetic Based on the FEMTIC Program
* Zuwei Huang, Takao Koyama, Peng Yu, Yoshiya Usui
- R003-P07 DEEPMAYMT: Marine magnetotelluric investigation for a submarine volcanic system offshore Mayotte
* Tetsuo Matsuno, Nobukazu Seama, Pierre Wawrzyniak, Jean-françois D'eu, Hiroko Sugioka, Pascal Tarits, Haruki Doi, Mamoru Sano
- R003-P08 Resistivity structure beneath the Kikai submarine caldera volcano and tidally induced EM signals from OBEM observations
* Takumi Obata, Tetsuo Matsuno, Takuto Minami, Hiroshi Ichihara, Yoshiya Usui, Yoshiaki Tatsumi, Hiroko Sugioka, Hironori Otsuka, Nobukazu Seama
- R003-P09 Improvement of the total variation regularization of the 3D magnetic and gravity inversion using the structural guide method
* Utsugi Mitsuru
- R003-P10 Development of a UAV-based Electromagnetic Exploration System Prototype
* Keiichi Ishizu, Norihiro Kitaoka, Yasuo Ogawa, Akihiko Terada
- R003-P11 Induction Vector Analysis of InSight Magnetic Data to Constrain Martian Mantle Structure
* Sakika Hoshino, Takuto Minami, Yuki Harada, Naoki Terada, Masahiko Sato, Yasuo Ogawa, Masaki Matsushima, Hisayoshi Shimizu, Rina Noguchi

R003-P12 Magnetic field variations with a 2-h timescale in Tonga and Samoa following the HTHH volcanic eruption on January 15, 2022
* Hisayoshi Shimizu

R003-P13 Tsunami wave height prediction using data assimilation of seafloor magnetic data in French Polynesia
* Takayuki Hirano, Takuto Minami, Jan Saynisch-wagner, Aaron Hornschild, Zhiheng Lin, Toshitaka Baba, Hiroaki Toh

[R007] 太陽圏 Heliosphere

R007-P01 CME Propagation Environment for Type II Solar Radio Bursts Modulation on June 13, 2022
* Naoto Kinno, Yuto Katoh, Atsushi Kumamoto, Kazumasa Iwai, Hiroaki Misawa

R007-P02 Reliability Assessment of Solar Wind Speeds Derived from IPS Observations
* Kenichi Fujiki, Kazumasa Iwai

R007-P03 Current status of update of the wideband system for the Iitate Solar/Planetary Radio Telescope (IPRT)
* Hiroaki Misawa, Fuminori Tsuchiya, Hiroshige Yamaguchi, Yoji Kuwayama, Hajime Kita, Hideki Ujihara, Shinya Sato

R007-P04 Numerical Simulation of the Transport process of Galactic Cosmic Rays to 1 AU
* Taiki Kawanoga, Shuichi Matsukiyo, Fumiko Otsuka, Kotaro Yoshida

[R009] 惑星圏・小天体 Planets and Small Bodies

R009-P01 Observation of Mercury's Potassium Exosphere using the Tohoku 60-cm Telescope at Haleakala Observatory in Hawaii

* Masato Kagitani, Naoko Takatori, Yasumasa Kasaba

R009-P02 Numerical modeling of particle dynamics in the near-Mercury space environment: Initial results
* Kirolosse Girgis, Go Murakami, Akimasa Yoshikawa, Léa Griton

R009-P03 Development of the ion mass spectrometer for the Comet Interceptor mission
* Satoshi Kasahara, Ryo Tao, Yuki Sato, Soichiro Seki, Oya Kawashima, Shoichiro Yokota, Kazushi Asamura, Yoshifumi Saito

R009-P04 Examination of the Method to Estimate the Magnetometer Sensor Alignment on Comet Interceptor Using Artificial Magnetic Noise
* Yoshiharu Kurematsu, Ayako Matsuoka, Naofumi Murata, Yuki Harada, Satoshi Kasahara, Yasutaka Satoh, Yasuyuki Miyazaki, Hirohide Shiratori, Shintaro Nakajima, Ryu Funase

R009-P05 Analysis of high-resolution ultraviolet spectral data of comet comas for observation of Comet Interceptor/Hydrogen Imager
* Yusei Mitoh, Kazuo Yoshioka, Yudai Suzuki, Shohei Aoki

R009-P06 Analysis of H₂O abundance in the lunar magnetic anomaly region using KAGUYA MAP-PACE data
* Yudai Arai, Yoshifumi Saito

R009-P07 Study on the dust impact signals observed by the WFC aboard KAGUYA
* Yasunori Otsubo, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Satoshi Kurita, Hirotsugu Kojima

R009-P08 Analysis of Prediction reasons using Explainable AI for the Application of Solar Radiation Prediction on the Moon
* Takashi Yanase, Yuta Kato, Naho Fujita, Aiko Nagamatsu, Kanya Kusano, Yoshizumi Miyoshi, Chihiro Mitsuda

R009-P09 Magnetic anomalies and landing site evaluation for STEP1 on Mars
* Masahiko Sato, Masaki Matsushima, Hisayoshi Shimizu, Futoshi Takahashi, Yuki Harada

R009-P10 Study of Ion Escape from Mars through Polar Plumes based on Global Multi-Fluid MHD Simulations
* Takemoto Taishi, Sakata Ryoya, Seki Kanako, Sakai Shotaro, Terada Naoki, Shinagawa Hiroyuki

R009-P11 Planetary Protection Category IV-Compliant Frequency-Separation Filter for a THz Heterodyne Spectrometer for Mars Orbiter Missions
* Hinako Fujimaki, Hiroyuki Maezawa, Tetsuya Yamakura, Masayuki Ishino

R009-P12 New IRTF/TEXES Measurements of Martian H₂O₂ During Northern Summer: Preliminary Results
* Mizuto Iguchi, Shohei Aoki, Hideo Sagawa, Tatsuro Iwanaka, Frank Daerden, Thomas Greathouse, Encrenaz Therese

R009-P13 Global Analysis of Martian Surface Pressure in MY27-29 using Mars Express/OMEGA
* Akira Kazama, Shohei Aoki, Aymeric Spiga, Mathieu Vincendon, Yasumasa Kasaba, Hiromu Nakagawa, Isao Murata, Takeshi Imamura

R009-P14 CO₂ supersaturation in the Martian southern polar night using MGS radio occultation rederived with MCS temperature climatology
* Katsuyuki Noguchi, Armin Kleinboehl, Sylvain Piqueux

R009-P15 Formaldehyde reaction measurement in a droplet with an electrodynamic balance and Raman spectroscopy
* Soma Ubukata, Naoki Matsumoto, Hiromu Nakagawa, Naoki Terada, Tatsuya Yoshida, Shungo Koyama, Hiroki Karyu, Masao Gen

R009-P16 The Observational Feasibility of Escape of Water Vapor Atmosphere from Terrestrial Exoplanets by Ultraviolet Transit Spectroscopy
* Ryuga Kato, Akifumi Nakayama, Shingo Kameda

R009-P17 Response of the Venusian hydrogen exosphere to the solar wind coordinated observations by Hisaki and Venus Express
* Chizuru Nose, Kei Masunaga, Fuminori Tsuchiya, Shotaro Sakai, Yasumasa Kasaba, Jean-yves Chaufray, François Leblanc

R009-P18 Formation of V0 Layer in Venus' Nightside Ionosphere Induced by SEP Events
* Pucheng Lu, Takeshi Imamura, Yuki Nakamura, Keshav R. Tripathi

R009-P19 Bifurcation and stability of the co-condensation dynamics of H₂SO₄-H₂O droplets in Venusian clouds
* Hiroki Ando, Satoru Nakano, Shin-ichiro Shima, Masahiro Takagi, Hideo Sagawa

R009-P20 Variations in the distribution of the unknown UV absorber associated with planetary-scale waves at the Venus cloud top
* Masataka Imai

R009-P21 Cloud top circulation of Venus obtained from denoised thermal infrared images
* Zhuan Guo, Takeshi Imamura

R009-P22 Occurrence characteristics of Jovian narrowband kilometric radiation (nKOM) using Juno/Waves data
* Rentaro Sugawara, Hiroaki Misawa, Yasumasa Kasaba, Fuminori Tsuchiya, Rikuto Yasuda

R009-P23 New Compact Low-Frequency Radio Observatory LWA-Niyodo
* Masafumi Imai, Toshimitsu Ono, Kazumasa Imai

R009-P24 Planetary Lightning -Based on the Roly-Poly, the Dipole Proximity Electron Relay, the Dipole Series Battery, Capacitance-Decrease-
* Motonobu Sato

R009-P25 Radio instrument of Radio and Plasma Wave Instruments (RPWI) aboard ESA JUICE: from Launch, via Lunar-Earth, toward Venus
* Yasumasa Kasaba, Cecconi Baptiste, Fuminori Tsuchiya, Hiroaki Misawa, Lucas Grosset, Antonio Vecchio, Corentin Louis, Rikuto Yasuda, Hajime Kita, Yuto Katoh, Atsushi Kumamoto, Tomoki Kimura, Yoshizumi Miyoshi, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Satoshi Yagitani, Mitsunori Ozaki, Hirotsugu Kojima, Satoshi Kurita, Jan.-E. Wahlund, Rpw Team Juice

R009-P26 A test particle simulation for re-evaluation the energy input into the Saturn's atmosphere by keV electrons
* Hiroyasu Tadokoro, Yuto Katoh

R009-P27 UV space telescope LAPYUTA: overview of the mission instruments and development updates
* Go Murakami, Fuminori Tsuchiya, Atsushi Yamazaki, Umi Enokidani, Masato Kagitani, Shingo Kameda, Kazuo Yoshioka, Masaki Kuwabara, Tomoki Kimura, Ayaka Tadokoro, Ryoichi Koga, Riko Shimizu, Iona Kondoh, Ryo Iba

R009-P28 Development of a large, high-sensitivity ultraviolet detector for installation on LAPYUTA
* Ayaka Tadokoro, Go Murakami, Umi Enokidani, Atsushi Yamazaki, Shingo Kameda, Fuminori Tsuchiya, Kazuo Yoshioka, Masaki Kuwabara, Tomoki Kimura, Riko Shimizu, Iona Kondo

[R010]

宇宙天気・宇宙気候 ～観測、シミュレーション、その融合～ Space Weather/Space Climate

R010-P01 Variations of intensity profiles of SEP in the inner heliosphere using multi-point in-situ observations
* Gaku Kinoshita

R010-P02 Geomagnetic Response to Solar X-ray and EUV Emissions during Major Flares from 2010 to 2014
* Ryosuke Okubo, Kyoko Watanabe, Sinnosuke Kitajima, Satoshi Masuda, Akimasa Ieda, Hidekatsu Jin, Chihiro Tao, Michi Nishioka

R010-P03 Performance evaluation of deep-learning-based modeling of solar coronal magnetic field
* Kodai Yokoya, Yoshizumi Miyoshi, Haruhisa Iijima

R010-P04 Solar microwave spectral observations using the Yokosuka Radio Polarimeter : Initial Findings
* Kogaku Kitayama, Kyoko Watanabe, Shinnosuke Kitajima, Ryosuke Okubo, Ryoka Shirogauchi, Kensho Yasui, Takeshi Nobara, Masahito Tsuji, Kazumasa Iwai, Satoshi Masuda, Masumi Shimojo

R010-P05 Magnetosphere-Ionosphere Responses to a Negative Solar Wind Dynamic Pressure Pulse Event: Global Modeling and Observations
* Geetashree Kakoti, Kazuo Shiokawa, Dong Lin, Shreedevi Porunakatu, Nozomu Nishitani

R010-P06 Understanding the role of EMIC wave-particle interactions in driving westward ion drifts in the dusk-side sub auroral ionosphere
* Shreedevi Radhakrishna Porunakatu, Miyoshi Yoshizumi, Yiqun Yu, Vania Jordanova

R010-P07 Effects of Ionospheric Disturbances on GNSS Positioning Errors during the Geomagnetic Storm on May 2024
* Kyosei Nakamura, Yuichi Otsuka, Atsuki Shinbori, Michi Nishioka, Septi Perwitasari, Weizheng Fu

R010-P08 Installation of an RTK-GNSS base station and initial results of RTK positioning
Yukinobu Koyama, * Rintaro Yamamoto

R010-P09 SENSU Syowa SuperDARN JARE65/66 2024-2025 reports and its future plan towards phase XI Japanese Antarctic Project
* Akira Sessai Yukimatu, Jo Sato, Tomoyuki Yara, Misaki Shimizu, Masami Hamaji

R010-P10 Verification of SBAS ionospheric correction by using a 3-D ionospheric tomography
* Susumu Saito, Toru Takahashi, Takeyasu Sakai, Mamoru Yamamoto

R010-P11 Evaluation of Directive-Based GPU Implementation for an Atmospheric General Circulation Model
* Shoji Sakoda, Keiichiro Fukazawa, Yasunobu Miyoshi, Takeshi Iwashita

R010-P12 Development of a Python Interface for Code-To-Code Adapter Library
* Keiichiro Fukazawa, Haichao Zhao, Takeshi Nanri, Yohei Miyake, Yuto Katoh

R010-P13 Update of a real-time prediction system of CME arrival with ensemble SUSANOO-CME simulation using GOES-CCOR data
* Daikou Shiota, Yuki Kubo, Satoshi Morita

R010-P14 Forecast of CIR-driven geomagnetic storms using the deep neural networks
* Naoko Takahashi, Naoto Nishizuka

R010-P15 Development status of RMS and discussion of anomaly risk estimation method using real-time RMS data
* Shinji Saito, Naoko Takahashi, Kenichi Otsuji, Taku Namekawa, Inchun Park, Tsutomu Nagatsuma, Kaori Sakaguchi, Takuya Tsugawa, Ryutaro Suzuki, Naoto Kadowaki, Takefumi Mitani, Kazushi Asamura, Takeshi Takashima

R010-P16 Development of Ultra-Compact and Low-Power Space Radiation Environment Measurement Technologies for Lunar Environment
* Yoshizumi Miyoshi, Aiko Nagamatsu, Satoshi Kasahara, Yuji Kishimoto, Kazuhiro Terasawa, Tatsuhiko Sato, Toru Tamagawa, Riichiro Nakamura, Takayoshi Kohmura, Takefumi Mitani, Yuki Harada, Hideyuki Usui, Yohei Miyake, Satoshi Kurita, Masaki Nishino

R010-P17 Study on Indicators and Thresholds for Space Weather Phenomena (Telecommunications and Broadcasting Sector)
* Hidekatsu Jin, Takuya Tsugawa, Chihiro Tao, Satoshi Andoh, Michi Nishioka, Septi Perwitasari

R010-P18 Zekkei HOSHIZORA Project: Contributing to the community and citizen science through low-latitude aurora observation in Hokkaido
* Kiyoka Murase, Hiroshi Masui, Kazutaka Tateyama, Tatsuya Takekoshi, Takuo Tsuda, Akiho Endo, Tomotaka Tanaka

R010-P19 Development and Implementation of Student Experiments Using Solar Wind Data
* Akihiro Ikeda, Manabu Shinohara, Ichiro Chikami, Hiromasa Nozawa

[R011] データシステム科学 Data System Science

R011-P01 Development of a Unity-based 3D Visualization Tool for Scientific Satellite Observation Data
* Fuma Jido, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda

R011-P02 Interdisciplinary Research Database AMIDER and Related Initiatives for Open Data
* Masayoshi Kozai, Yoshimasa Tanaka, Shuji Abe, Yasuyuki Minamiyama, Atsuki Shinbori, Qi Zhang, Akira Kadokura

R011-P03 Preparation of PDS4-compliant SLIM Multiband Camera Data Archive
* Shin-ya Murakami, Yoshihiko Yamada, Yasuhiro Yokota, Yusuke Nakauchi, Masaki Nishino, Hiroyuki Sato, Makiko Ohtake, Hiroshi Nagaoka, Chikatashi Honda, Yoshiaki Ishihara, Risa Miyazaki, Iori Kajitani, Ryusuke Nishitani, Kazuto Saiki

R011-P04 Stochastic Process-Based Modeling of Storm-Induced Orbital Decay with Machine Learning Prediction
* Soushi Fukuda, Mayuri Emoto, Akiko Fujimoto

R011-P05 Estimation of Equatorial Plasma Bubble Altitudes with Ensemble Learning Models Incorporating Tweedie Regression
* Yuki Gooou, Hideto Nariai, Ikumi Yoshino, Akiko Fujimoto

R011-P06 Shape-Preserving Embedding of Coronal Hole Sequences for Predicting Radiation Belt Electron Flux Enhancements
* Iori Tamura, Soichiro Kondo, Reiri Noguchi, Akiko Fujimoto

ポスター発表一覧表 (セッション番号順)

会場：百年記念館ホワイエ

R011-P07 Automated FLR Detection and Frequency Extraction
from Geomagnetic Spectrograms Using Deep Learning and
Morphological Processing
* Reiri Noguchi, Yuki Obana, Iori Tamura, Soichiro
Kondou, Akiko Fujimoto

R011-P08 Climatology of Pi2 activity deduced from a machine-
learning-based analysis of the Wp index
* Shinya Nakano, Ryuho Kataoka, Masahito Nose

総合電磁気計測テクノロジー

磁力計

フラックスゲート
プロトン
オーバーハウザー
ポタシウム
インダクション

宇宙

磁気トルカー
小型衛星地磁気姿勢計
太陽センサ

火山

衛星携帯データ転送
太陽電池システム
無線LAN

航空

航空機用ポタシウム
AUV用フラックスゲート
ポタシウム磁力計搭載ドローン

磁気試験

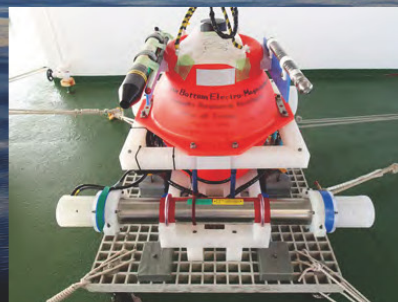
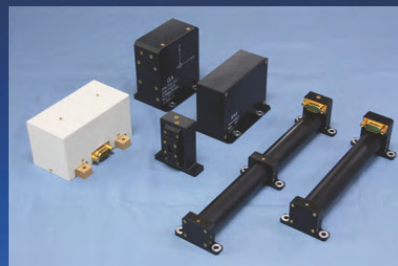
磁気モーメント計測システム
磁気シールド

海洋

海底電位磁力計(OBEM)
海底電磁探査装置
曳航式オーバーハウザー

地下電磁探査

TDEM測定器
比抵抗測定器
全磁力サーベイ



有限会社テラテクニカ

〒208-0022 東京都武蔵村山市榎 3-25-1
TEL:042-516-9762 FAX:042-516-9763
カナダGEM Systems社 日本代理店

<http://www.tierra.co.jp/>

この星に、たしかな未来を

— OUR TECHNOLOGIES, YOUR TOMORROW —

私たち三菱重工は、次の世代の暮らしと、そこにある幸福を想い、人々に感動を与えるような技術と、ものづくりへの情熱によって、たしかな未来を提供していくことを目指します。そのために私たちは、これまで培ってきた技術を磨くとともに、新たな発想で様々な技術を融合させるなど、さらなる価値提供を追求し、地球的な視野で人類の課題の解決と夢の実現に取り組みます。



三菱重工業株式会社 www.mhi.co.jp

〒108-8215 東京都港区港南2-16-5

Tel 03-6716-3111

 **三菱重工**

この星に、たしかな未来を



産業用製品を探すなら

Metoree

産業用製品検索サービス メトリー

カテゴリ数
6,000

掲載企業数
70,000

FUJITSU

未来はいつも、
誰かの想いからはじまる。

世界に、未来への確信を届けたい。
社会課題を解決する「Fujitsu Uvance」から。

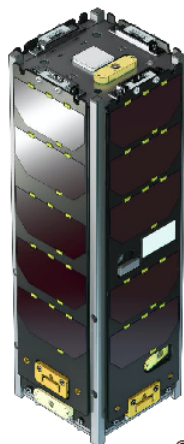
Fujitsu Uvanceの取り組みについてはコチラ



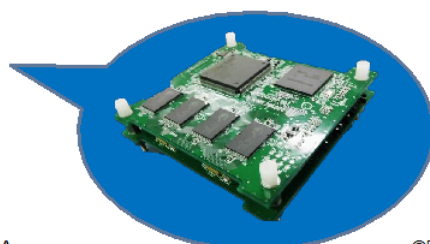
Fujitsu
Uvance

革新的衛星技術実証2号機搭載 高機能CubeSat用OBC

～最先端のCOTSで安価・高性能・省スペースを実現するOBCの開発に成功～



©JAXA



©明星電気

- ▶ベトナム国家宇宙センター(VNSC)との共同研究の下、「NanoDragon(ナノドラゴン)」という、3Uサイズのキューブサットに弊社の民生部品を活用した安価で高性能なオンボードコンピュータ(OBC)を軌道上実証を実施。
- ▶民生品を活用し、コストと信頼性のバランスのよい、ユーザの要求に柔軟に対応可能なCubeSat用オンボードコンピュータ(OBC)を開発
- ▶キューブサットや超小型衛星に関する国際協力事業を行う上でのモデルケースとしての確立を目指す
- ▶革新的衛星技術実証2号機/イプシロンロケット5号機にて打ち上げ
- ▶COTS(Commercial Off-The-Shelf 民生品)を活用したCubeSat用OBCで処理能力は160MIPSを実現

高機能CubeSat用OBC 諸元表

項目	性能
サイズ	96 mm × 90 mm × 21 mm (基板表面部品含む)
質量	110 g Typ.

日本の宇宙開発草創期から参画し、現在までに約3,000個もの観測機器を宇宙に送り出しています。
明星電気は、独自の技術、Sensing & Communication — 「計る技術」と「伝える技術」をコア技術に、国内外の宇宙開発に貢献しています。
宇宙防衛事業部 営業部 東京都江東区豊洲三丁目1番1号 TEL: 03-6204-8252 MAIL: aerospace@meisei.co.jp <https://www.meisei.co.jp/> 採用情報 随時更新中



editage

エディテージは研究者の総合支援ブランドとして、英文校正だけではなく科学イラスト制作や研究プロモーション、研究 DX のための AI ツールの提供を通じて日本の研究を総合的にサポートします。

学会限定！お得な **10% 割引** クーポンつきサイト

<https://www.editage.jp/co/sgepps>

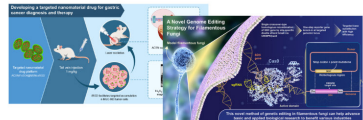


- ・割引は本体価格にのみ適用
- ・専門家サービスにのみ利用可
- ・他クーポンとの併用不可

科学イラスト も エディテージ

グラフィカルアブストラクト制作

- ・ 4 営業日以内に初稿を納品
- ・ 42,900 円 (税込、2D の場合)



学会ポスター制作サービス・
研究発表用パワーポイント制作

- ・ 5 営業日以内に初稿を納品
- ・ 95,000 円 (税込)



Web 版
Word アドイン版

無料
プランあり

人間の校正者に
極めて近い AI を搭載

Paperpal

お問い合わせ：エディテージ ☎0120-50-2987 ✉ submissions@editage.com

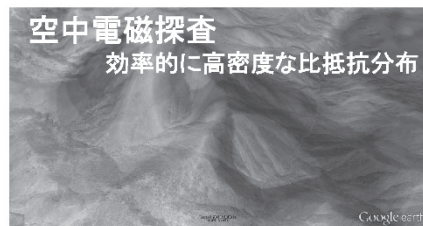
エディテージはカクタス・コミュニケーションズ株式会社のサービスブランドです



MT法電磁探査は、自然の電磁場信号を用いて行なう比抵抗探査手法です。他の比抵抗探査手法よりも探査深度が深く、地下数十kmまで探査が可能です。このため、地殻構造調査や地熱構造調査に多くの実績があります。また、測定周波数の高いAMT (Audio Frequency MT) 法探査を用いることにより、地下1km程度までの詳細な探査も可能で、トンネル掘削前の土木地質調査や断層調査への実績があります。測定システムは信頼性に優れ、騒音振動はありません。

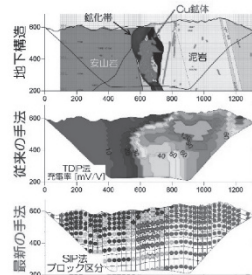


ジオレーダはミリ波あるいはマイクロ波帯の電波を照射し、火山や地滑り斜面、鉱山切羽などで反射した成分を受信します。受信記録に差分干渉解析を適用することで、観測ターゲットの微小変位を常時モニタリングすることができます。レーダアンテナは水平及び垂直方向に回転する機構を備えていますので、面的なデータ集録が可能となります。

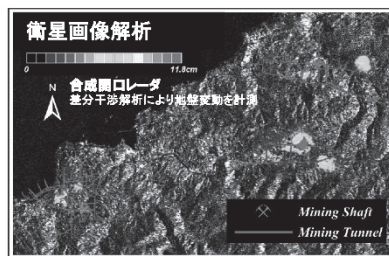


空中物探探査は、固定翼機やヘリコプターを用いて行う物探探査手法です。空中から調査を行うため、地表からアクセスが困難な地区の情報を容易に得ることができ、1日に数百kmにおよぶデータを取得することが可能です。測定項目には、磁場強度、重力、放射能強度および電磁場強度があり、お客様のニーズに合わせた測定項目をご提案いたします。

SIP法



SIP法は、地下の周波数特性を調べる電気探査手法です。通常のTDIP法よりノイズ耐性が高く、得られるパラメータも多いことから、次世代の電気探査法として注目を集めています。含有物に依存する周波数特性を測定することで、今まで以上に詳細に岩層を区別することが可能になります。



人工衛星に搭載された光学センサーやレーザセンサーは、数m程度の高い空間分解能で、数十〜数百km四方の広範囲の地表情報を記録し、画像化します。リモートセンシングでは、衛星画像を解析することにより、地球上のあらゆる地域の情報を適時的に収集することが可能で、人工衛星が定期的に地球を回りますので、地表状態の定常監視に応用できます。

日鉄鉱コンサルタント株式会社

ホームページ: <http://www.nmconsults.co.jp/>

E-mail: geophy@nmconsults.co.jp (物理探査部)

東京都港区芝4-2-3 NMF芝ビル 3F Tel:03-6414-2766 Fax:03-6414-2772

学会からのお知らせ

Earth, Planets and Space

Open Access for the Geosciences Impact Factor (2024) : 2.5

特集号の受付

EPS では、特集号の提案を随時受け付けております。研究プロジェクトの最新の成果の発表の場としてご活用ください。

- ✓ International Geomagnetic Reference Field - The Fourteenth Generation
投稿締切: 1 September 2025
- ✓ Cruise and flyby achievements of the BepiColombo mission to Mercury
投稿締切: 31 January 2026

2025 年 APC: \$1324.3 (会員価格)

※投稿時・受理時に所定の手続きが必要です。

賛助会員の募集

SGEPSS の事業は、賛助会員の皆様のサポートを受けております。賛助会員の皆様には、以下の広告サービスを行っておりますので、入会についてご検討ください。

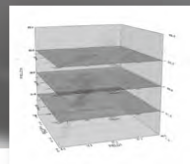
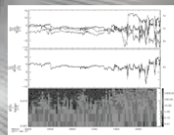
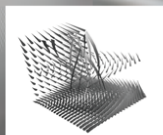
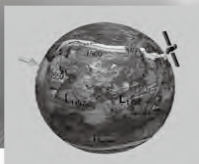
- ✓ [学会 Web トップページ](#)でのロゴマーク掲載
- ✓ [賛助会員様一覧ページ](#)への情報掲載
- ✓ 定期刊行の会報における広告記事掲載



IDL

Discover What's In Your Data.

電磁圏・プラズマ研究分野でのスタンダードソフトウェア



IDL は、コロラド大学大気宇宙物理学研究所出身の Dr. David Stern により、より効率的にデータ処理から可視化までを、クロスプラットフォーム OS 上で実行出来るように研究者視点から開発されております。

現在、地球電磁気・地球惑星圏学会の皆様は IDL を あらせ衛星データ処理、TDASや SuperDARN データ処理などで多くご利用されていると思います。

最新の IDL では対話形式だけではなく、開発環境やプログラミング自体も大幅に改良され、表示やフォントも綺麗で使いやすくなっております。

【最新版 IDL 無償評価版お問合せください】

NV5 GEOSPATIAL

NV5 Geospatial株式会社

■ 本社/東京オフィス

〒113-0033 東京都文京区本郷1-20-3 中山ビル3F
TEL : 03-6801-6147 / FAX : 03-6801-6148

URL > <https://www.nv5geospatialsoftware.co.jp> MAIL > sales_jp@NV5.com

■ 大阪オフィス

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-1-23 コウダイ肥後橋ビル5F
TEL : 06-6441-0019 / FAX : 06-6441-0020



link.springer.com

Springer eBook 地球科学・天文学関連コンテンツ

研究にも、教育にも最適なイーブック・コレクション

- ・ 分野別、出版年別にパッケージ化した買い切り商品
- ・ 広範な領域を網羅
- ・ 利用価値の高いレファレンスや、ブックシリーズ、テキスト、モノグラフを含む幅広いコレクション
- ・ 一冊まるごと、章ごとでもダウンロード可能
- ・ 同時アクセス無制限、プリントアウト可能で教材にも最適。学生の教材費を軽減。
- ・ 時、場所、デバイスを選ばず利用でき、移動の多い多忙な研究者に最適

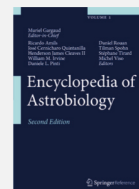
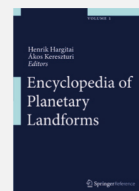
分野	累計出版点数	2017年予定出版点数
地球科学・環境科学	5,700点	390点
物理学・天文学	10,000点	430点

ご所属の機関で使えるeBookをご存じですか？

利用可能コンテンツ、タイトルリスト、お見積りなどご希望の方はお問合せください。

シュプリング・ネイチャー インスティテュショナル・マーケティング

・ Tel: 03-4533-8091 ・ Fax: 03-4533-8081 ・ Email: jpmarket@springernature.com



springer.com

Part of **SPRINGER NATURE**

研究論文に特化した英文校正で論文の英語を磨き上げ、国際誌への投稿をサポート。

エナゴの選ばれる理由

- 2段階チェック
1. 「分野の専門家」と「英語の専門家」
2名によるチェック。
- 専門分野の合致
2. 各分野で博士・修士号を取得した
専門家が校正。
- 査読対応込みの再校正
3. 投稿後の修正と加筆に何度でも再
校正を行う「査読対応オプション」。

1単語あたり5.5円～。2名体制の校正料金では業界最安値レベル。

分野の専門家最大5名による日英・英日翻訳で、研究成果の世界への発信をサポート。

ユレイタスの選ばれる理由

- 分野に合致した翻訳者
1. 1117の専門分野の中から、原稿の内容
と最も合致する翻訳者を選びます。
- 博士・修士による翻訳
2. 平均10.4年の学術論文翻訳の経験
を有するスペシャリストです。
- 回数無制限の修正保証
3. 何度でも翻訳の手直しを行う「あん
しん保証」(日英翻訳レベル3)。

学会会員様限定割引コード **GKJP108AD** 有効期限：2024年3月31日

見積りフォームのスペシャルコード欄へのご入力で新規割引 **20%OFF**
(英文校正サービスの割引上限額：2,500円)

研究支援エナゴ：

論文翻訳・学術翻訳ユレイタス：



www.enago.jp

www.ulatus.jp



メールには24時間対応

request@enago.com

request@ulatus.com



電話受付：月～金 10:00～19:00

03-4580-9713

平日 10:00～20:00 ±13:00～21:00 日 10:30～19:30

03-4580-9713

株式会社 NTシステムデザイン

地球物理学・地震火山研究向け
測定器開発・製造・販売

オモロイ研究をしている人と
オモロイ仕事をしたい！



www.nt-sys.jp

facebook.com/ntsysd



MT観測用 電場観測装置
ELOG-DUAL

賛助会員リスト

下記の企業は、本学会の賛助会員として、
地球電磁気学および地球惑星圏科学の発展に貢献されています。

(有) テラテクニカ (2 口) <http://www.tierra.co.jp/>
三菱重工 (株) 防衛・宇宙セグメント (2 口) <https://www.mhi.co.jp/>
産業用製品メーカー・代理店比較の Metoree (ZAZA 株式会社) <https://metoree.com/>
富士通 (株) <https://jp.fujitsu.com/>
明星電気 (株) 宇宙防衛事業部 <https://www.meisei.co.jp/>
カクタス・コミュニケーションズ (株) <https://www.editage.jp/>
日鉄鉱コンサルタント (株) <https://www.nmconsults.co.jp/>
NV5 Geospatial 株式会社 <https://www.nv5geospatialsoftware.co.jp/>
シュプリンガー・ジャパン (株) <https://www.springer.com/>
研究支援エナゴ <https://www.enago.jp/>
株式会社 NT システムデザイン <https://www.nt-sys.jp/>

地球電磁気・地球惑星圏学会 (SGEPSS) 2025 年秋季年会プログラム

発 行 日 : 2025 年 11 月 14 日発行

発 行 者 : 地球電磁気・地球惑星圏学会 <https://www.sgepss.org/>

事 務 局 : 〒650-0034 神戸市中央区京町 83 番地 三宮センチュリービル 3 階
(株) プロアクティブ内 地球電磁気・地球惑星圏学会事務局

TEL: 078-332-3703 FAX: 078-332-2506 E-mail: sgepss@pac.ne.jp